

家族で、地域で備えましょう!

日頃の備え



家族で防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときに、あわてず行動できるよう家族で普段から話し合っておきましょう。また、災害に備えて家中と外とをチェックし、危険な箇所は早めに改善するようにしましょう。

チェック! 話し合いたい項目

- 家の付近の浸水状況や、土砂災害のおそれのある箇所の確認
- 家族間の連絡方法と、最終的に会う場所
- 災害別の避難行動 指定されている避難所等とそこへ行くまでの経路の確認
- 災害が起きた時の身の守り方

*乳幼児・高齢者・病人・妊婦のいる家庭や、ペットを飼っている家庭はその避難方法も話し合いましょう。

我が家の安全対策を確認しましょう

安全と思われる家中や家の周りでも、災害時に避難や救助の妨げになったり、落下物によるケガなどの被害を引き起こすことがあります。災害に備えて日頃から点検する習慣をつけましょう。

家の中の安全対策

- 飛散防止フィルムを貼るなどガラスの飛散を防止する。
- 出入口付近には荷物を置かず避難口を確保する。
- 家具の転倒、落下防止のため、金具などで固定する。
- 停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオと予備の電池を準備しておく。
- 重たい荷物は高い所に置かず、床に置いておく。
- タコ足配線やコードを束ねて使用しない。
- 住宅用火災警報器、消火器を設置しておく。

家の周りの安全対策

- 瓦の割れ、ずれ、はがれはないか。トタン屋根のめくれ、はがれはないか。
- アンテナ、看板などは、針金などを使って補強しておく。
- 電気の引込線のたるみや破損があったら、電力会社に連絡する。
- 窓枠のがたつきはないか。ひび割れはないか。
- 外壁に亀裂はないか。
- プロパンガスボンベが固定されているか。
- ブロック塀にぐらつきや亀裂はないか。
- 物干し竿、植木鉢、自転車などが風で飛ばされないようにする。
- 農業用水路や、排水溝(下水溝)、雨どいのゴミや泥、落ち葉や土砂を取り除き、水はけを良くしておく。

家屋の浸水を軽減しましょう

簡易水防工法は、家庭にある物を使って家屋の浸水や流入を防ぐ方法です。

水深が浅い段階では有効です。玄関などの出入口のみならず、床下への浸水の防止にもなります。

●ゴミ袋による簡易水のう

40リットル程度の容量のゴミ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。これをダンボール箱に入れ、連結して使用します。



●ポリタンクとレジャーシート

10リットルまたは20リットルのポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み、連結して使用します。

●止水板

出入口に長めの板などを設置し、浸水を防ぎます。

自主防災組織で地域を守る

天草市では、多くの地域で自主防災組織を結成しています。災害が発生した場合に備えて、防災・減災に関するさまざまな活動を行っていますので、皆さんもぜひ参加しましょう。

平常時の活動

●作ろう、参加しよう、育てよう!

隣近所などで、互いに助け合い、協力し合える体制づくりをしましょう。



●みんなで学ぼう!

防災に関する知識を身につけましょう。想定される災害と対応について話し合いましょう。



●訓練をしよう!

・初期消火訓練
・避難所の開設・運営訓練
・避難者の誘導訓練



災害時の活動

●初期消火活動

身の安全を第一に考え、消火器などを用いた初期消火の実施

●避難誘導支援

高齢者や障がいをお持ちの方々などへの避難誘導の支援

●救出・救護活動

まず身の安全を確保し、その後被災者の救出や救護活動の支援

●情報の収集・伝達

災害に関する正しい情報を収集伝達し、支援活動などを実施

●避難場所の支援

水や食料などの配給支援や炊き出しなどの活動支援



災害時避難行動要支援者の支援制度

災害時に自ら避難することが困難であり地域住民による避難支援等が必要な人のために、避難行動要支援者支援体制の強化を目的に、災害時避難行動要支援者名簿を作成し、地域における共助の取り組みを行っています。

非常持出品・備蓄品リスト

非常持出品・備蓄品の準備は防災対策の基本です。リストを参考に、家族構成に合わせて準備しましょう。また、食品の賞味期限や電化製品の故障がないかを定期的にチェックすることも忘れずにしましょう。

チェック! 非常持出品

あまり重いと避難に支障が出るので、必要最小限にまとめ、すぐ取り出せるところに保管しておきましょう。

□ヘルメット・防災ずきん

落下物から頭を守るために必需品

□貴重品

預金通帳、健康保険証、免許証(番号を控えたメモかコピー)、現金

□救急医薬品・常備薬

キズ薬、ばんそうこう、おくすり手帳、その他の薬など



□懐中電灯

※予備の電池も準備

停電時や夜間の移動に欠かせない。できれば1人に1つ用意

□リュックサックなど

非常品を入れて両手が確保できるリュックサックなど

□非常食

缶入り乾パンなど、火を通して食べられるもの

□携帯ラジオ

※予備の電池も準備

小型で軽く、FMとAMの両方を聴けるものがよい



チェック! 非常備蓄品

最低でも3日間は生活できるだけの量を用意しておきましょう。

□非常食

缶詰やレトルト食品など、そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるもの

□水

飲料水は

1人1日3リットルが目安

□工具類

スコップやロープなど



! 家族構成に合わせた準備を

非常持出品・備蓄品は、アレルギー対応の非常食やペットフードなど、家族構成に合わせて必要なものを考えてみましょう。



ローリングストック法

保管している非常食などを定期的に消費し、その分だけ补充していく備蓄方法です。「食べながら備蓄する」ということができます。



自ら判断し、早めに避難しましょう!

いざというときは



■ 避難を促す情報(5段階の警戒レベル)

警戒レベル	避難情報等	状況	住民がとるべき行動
5	緊急安全確保 【市が発令】	災害発生または切迫	命の危険が迫っています。 直ちに身の安全を確保します!
<警戒レベル4までに必ず避難!>			
4	避難指示 【市が発令】	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難します。
3	高齢者等避難 【市が発令】	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難します。 ※高齢者等以外の人も危険を感じたら 自主的に避難
2	大雨・洪水・高潮注意報 【気象庁が発表】	気象状況悪化	自らの避難行動を確認します。
1	早期注意情報 【気象庁が発表】	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高めましょう。

■ 天草市ソーシャルメディア

●天草市安心・安全メールサービス

QRコード
空メールを送信して登録すると、
メールで防災情報を
受け取ることができます。

✉ 登録用空メールアドレス
re-ansin@amakusa-web.jp

●天草市公式LINE

QRコード
友だち登録すると、
LINEで防災情報を
受け取ることができます。

✉ 検索ID
@amakusa-city

●天草市防災サイト

QRコード
避難情報や避難所の開
設状況、道路の通行規
制などを確認できます。

✉ <https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/bousai/>



■ 災害情報伝達システム

避難情報発令時や災害発生時に情報をいち早く伝えるために戸別受信機の無料貸出しを行っており、全世帯が対象になります。

設置がお済みでない世帯は、本庁防災危機管理課または牛深支所総務振興課、各支所まちづくり推進課までお問い合わせください。

■ 災害用伝言サービス

災害用伝言ダイヤル(171)

171 にダイヤルし、ガイダンスにしたがう

録音する場合

再生する場合

連絡を取りたい方の固定電話や携帯電話の番号を入力

1 伝言を録音

2 伝言を再生

災害用伝言板 (web171)

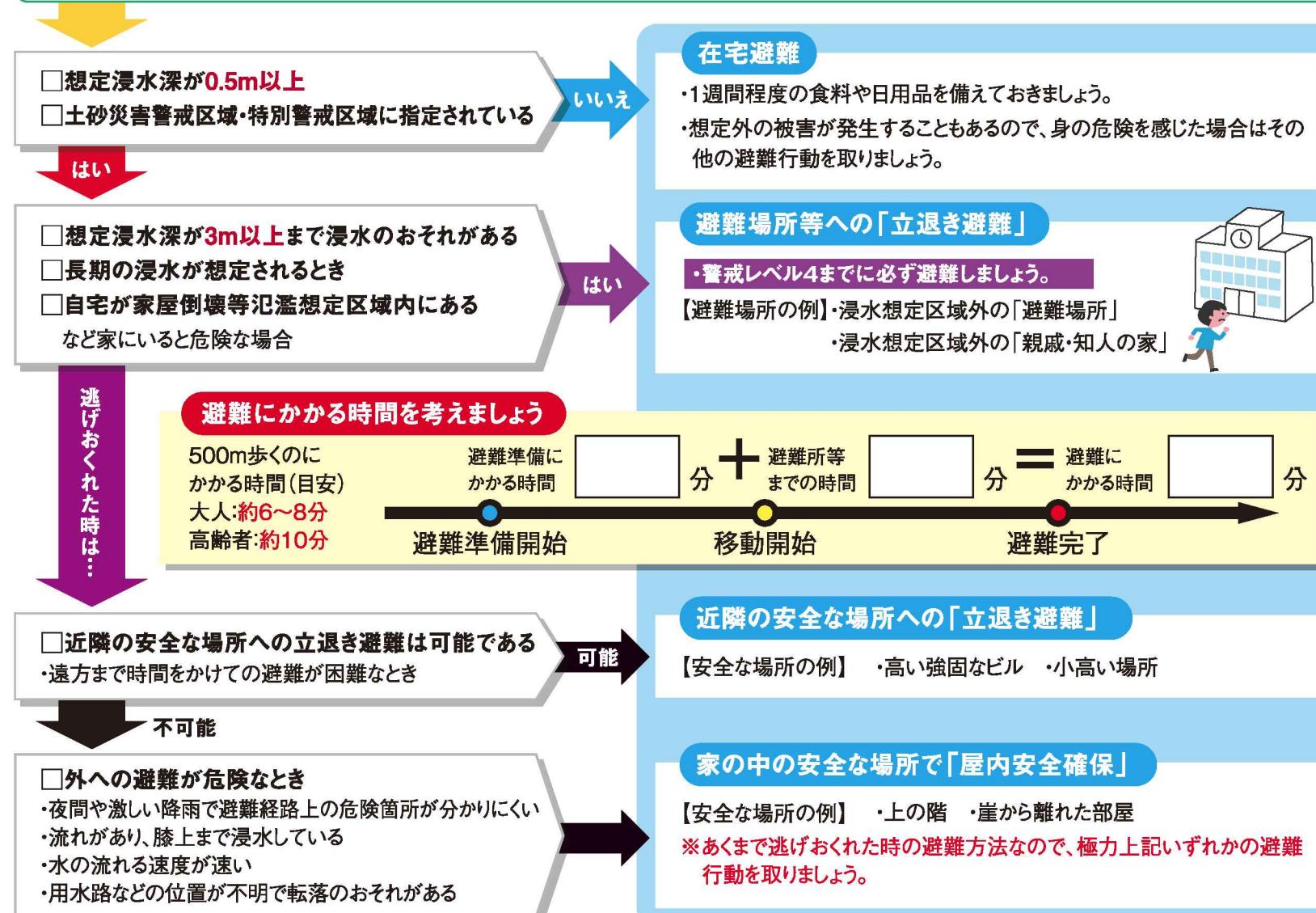
パソコンやスマートフォンなどから災害用伝言板
(web171)にアクセスし、連絡を取りたい方の固
定電話や携帯電話の番号を入力して安否情報
(伝言)を登録・確認します。

災害用伝言板
(各携帯電話会社)

携帯電話各社でも同様のサービスを行っています。
災害用伝言板
検索

■ 避難の考え方(避難行動判定フロー)

家のある場所を天草市総合防災マップで確認しましょう。



■ 要配慮者を地域で守る

「要配慮者」とは、災害が起きたとき、あるいは起きそうなときに、何らかの支援がないと自らの安全を確保できない人たちのことです。地域で協力して支援していきましょう。

●想定される主な要配慮者

- 高齢者(一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯など)
- 障がいのある人
- 介護が必要な人
- 難病患者、傷病者
- 乳幼児・妊婦
- 外国人

●要配慮者の特性

- ①災害の危険を察知することが困難である。
- ②自分の身に危険が差し迫っていても、助けを求めることが困難である。
- ③危険を知らせる情報を受け取ることや正しく理解することが困難である。
- ④危険を知らせる情報が送られてきても、それに対応して行動することが困難である。

■ 災害時に特別な配慮を要する方々への支援

高齢者や障がいをお持ちの方など、災害時において特に配慮を要する方々は、災害発生時において地域の皆さんの支援が必要となります。

●高齢者・病人

- ・おんぶ(または担架、リヤカーなどを利用)して安全な場所まで避難する。
- ・複数の介助者で対応する。



●目の不自由な方

- ・声をかけ、情報を伝える。
- ・誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持つてもらい、半歩手前をゆっくり歩く。



●車いすを利用している方

- ・階段では介助者2人以上が必要。
- ・上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- ・介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おんぶして避難する。



●耳の不自由な方

- ・話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- ・手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。



■ 避難のポイント

●集団で助け合おう!

単独での行動は避け、できるだけ近所の方たちと集団で避難場所へ避難しましょう。緊急時は、家族、隣近所、地域の皆さんで助け合いましょう。



●自分の住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう!

特に高齢者や子どもは、事前に防災メモを用意し、身につけて避難しましょう。



●外出中の家族には連絡メモを残そう!

避難前にはガスの元栓やブレーカーを切り、外出中の家族に「〇〇へ避難する」といったような連絡メモを残しておくと良いでしょう。



■ 避難のポイント(洪水)

●避難のときの靴

長靴は水が入って歩きにくく危険です。裸足やスリッパも禁物です。なるべく運動靴をはきましょう。



●見回りは絶対ダメ

大雨時の田んぼや河川の見回りは大変危険ですので、やめましょう。



●避難路に注意

橋を渡らないようにしましょう。



●足元に注意

足元が見えないことが多いので、よく通っている道でも、道路の真ん中を杖でつながら慎重に歩きましょう。



●電線に注意

垂れ下がった電線には近づいたり、触ったりしないようにしましょう。



●車は冠水に弱い

水深30cmで、ほとんどの車は止まってしまいます。従って浸水や冠水の危険を感じたら、すみやかに車を高台などに移動させましょう。一般的なガソリン車が浸水・冠水した場合、道路の水が引いたからといってエンジンをむやみにかけてはいけません。エンジンの吸気系に入ってしまっていると、エンジンをかけたときにエンジン自体が壊れてしまう可能性があります。



■ 避難のポイント(土砂災害)

●屋外に避難する場合

避難する際は、土砂災害警戒区域等(イエローボーン・レッドゾーン)を通らないようにしましょう。ハザードマップで区域を確認してください。

●屋外に避難できない場合

屋外に出ることがかえって危険な場合は、2階以上の斜面から離れた部屋で安全を確保してください。



●雨がやんだ後も注意

これまで降った雨が土の中に残っています。雨がやんでも、土砂災害が発生するおそれがあるので注意しましょう。

■ 避難のポイント(高潮)

●危険を感じたら早めに避難しましょう。

昼間に台風の強風域が近づいている場合や、夜間から明け方にかけて台風の強風域が最接近すると予想される場合は、市から早めの避難を呼びかけます。



●ひとまず丈夫な高い建物などに避難

水深が膝の高さを超えたたら、大人でも歩くのが困難になります。ひとまず近くの丈夫な高い建物などに避難しましょう。



●海沿いへ様子を見に行くのはやめましょう。

高波にのみ込まれるおそれがあります。



河浦地域 避難所一覧

●指定一般避難所(指定緊急避難場所) ※●はグラウンドなどの屋外施設 ○は地域管理の避難所

避難対象地区	施設名	指定緊急避難場所			指定一般避難所	指定緊急避難場所 地図・津波・高潮
		第1次	第2次	第3次		
新合地区	新合地区コミュニティセンター	○				
	新合体育館(旧新合小体育館)			○	○	
	新合地区コミュニティセンター前広場				●	
一町田地区	河浦支所	○				○
	河浦小学校体育館		○	○	○	
	河浦中学校体育館		○	○	○	
	河浦病院高台				●	
	河浦中央体育館		○	○	○	
	一町田体育館	○				
富津地区	路木十五社宮	○			○	
	富津地区コミュニティセンター	○				
	チャペルの鐘展望公園高台				●	
宮野河内地区	今富地域交流施設		○	○	○	
	宮野河内地区コミュニティセンター	○				
	宮野河内体育館(旧宮野河内中体育館)			○	○	
	大蓮寺			○	○	
	上平十五社宮高台				●	

●指定福祉避難所(要配慮者避難所)

天草西保健福祉センター

要配慮者利用施設は、天草市防災

サイトで随時更新しています!



※指定緊急避難場所 …… 災害が発生し、または発生の恐れがある場合に、その危険から逃れるための避難場所。※災害の状況や避難者数の状況に応じ、第1次から第3次の順に開設します。

※指定一般避難所 …… 災害の危険性があり、避難した方や災害により家に戻らなくなつた方に必要な期間、滞在していただく臨時の施設。
感染症などの拡大を防ぐため市が指定した避難所以外でも各自災害に応じた安全な場所を避難先として確保することも大切です。

※指定福祉避難所(要配慮者避難所) …… 要配慮者のために特別な配慮がなされた避難所。

避難所生活の心得

避難所の生活では、ほかの人の居住スペースに立ち入ったり、のぞいたり、大声を上げたり、決められた場所以外で喫煙するのはマナー違反です。

ルールを守り、避難者もできる範囲で役割分担をして助け合いながら生活しましょう。また、避難所では、要配慮者への心配りも必要です。

①連絡先などの申告



避難所に到着したら、住所・氏名・連絡先を申告し、できるだけ隣近所の人や町内会ごとにまとめて過ごすようにします。帰宅困難者はその旨を申告します。

②役割分担



受付や炊き出しなど、割り当てられた係の仕事をしっかり行いましょう。お互いに協力し合って避難所を運営しなければならないこともあります。

③体調管理・衛生管理



急激な環境変化で体調を崩さないように心掛けましょう。トイレの清掃やゴミ捨て当番などを決めて衛生管理をしましょう。

洪|水

情報の入手先

- 気象庁 気象警報・注意報 <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html>
- 気象庁 雨雲の動き(高解像度降水ナウキャスト) <https://www.jma.go.jp/bosai/nowc>
- 気象庁 キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>
- 熊本県 統合型防災情報システム <http://www.bousai.pref.kumamoto.jp/>

氾濫の種類

外水氾濫



大雨によって河川の水位が高くなると、堤防を越えて水があふれたり、堤防が壊れたり(決壊、破堤)することがあります。このようなことが原因で生じる氾濫のことを「外水氾濫」といいます。

内水氾濫

平地に降った雨は、水路などを通じて河川に放出されます。しかし、ゲリラ豪雨のような雨が降ると、水路の排水能力が追いつかなかったり、河川の水位が上昇して排出できなかったりすることがあります。このように、地域に降った雨が河川にたどり着く前にあふれる状態のことを「内水氾濫」といいます。

雨の降り方と強さ

1時間雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上	110mm	記録的短時間大雨情報
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨		数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨(気象台が発表)
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある降り方		
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしてもぬれる	傘は全く役に立たなくなる				特に、土砂災害警戒区域や浸水想定区域にお住まいの方は、避難情報を確認し、早めに避難行動をとってください。
屋内(木造住宅を想定)の様子	雨の音で話し声が良く聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく					
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる	水しぶきあたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる				

※今いる場所で雨が降っていないなくても、周辺や山間部で大雨が降っていたり、雷鳴が聞こえたりした場合は、急な河川の増水や局地的な大雨が降るおそれがあるため、気象情報をよく確認してください。

突然の大雨に注意

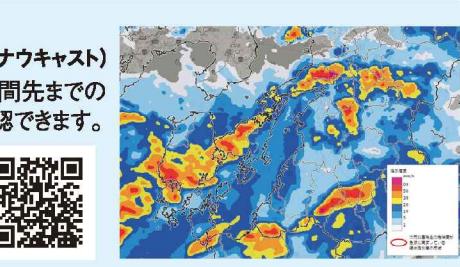
局地的大雨は、発達した積乱雲に伴って発生します。短時間のうちに雲がもくもくと大きくなって周囲が薄暗くなるようなときには、災害が発生する可能性が高まっていることを意識してください。

次のような現象を確認して危険を感じたら、すぐに身の安全を確保しましょう。

- 真っ黒い雲が近づき、あたりが急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷の光が見えたりする。
- 急に冷たい風が吹く。 ●大粒の雨やひょうが降り出す。



雨雲の動き
(高解像度降水ナウキャスト)
5分ごとに1時間先までの雨の動きを確認できます。



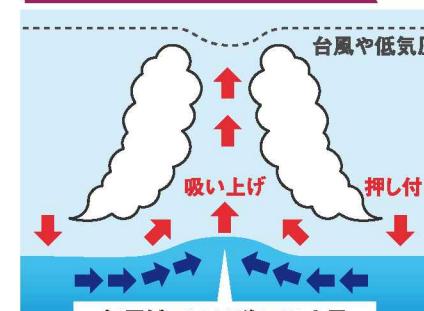
高|潮

情報の入手先

- 気象庁 気象警報・注意報 <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html>
- 気象庁 潮位観測情報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/db/tide/suisan/Index.php>

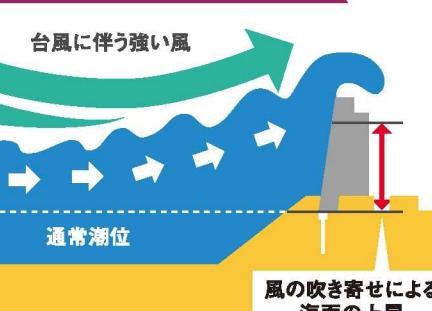
高潮の起こる仕組み

① 吸い上げ効果



台風や発達した低気圧の中心が接近すると、中心付近の気圧が低下し、海面が吸い上げられて上昇します。

② 吹き寄せ効果



台風による強い風が沖から海岸に向かって長時間吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が異常に上昇します。

高潮の被害を受けやすい場所

河口のまわり



高潮の被害と河川の氾濫などの危険が重なる。

ゼロメートル地帯



平均海面より低い土地は浸水の危険性が高い。
押し寄せる海水がたまり、湾内の水位が上がる。

湾の奥のほう



押し寄せた海水がたまり、湾内の水位が上がる。

急に深くなる海底地形



押し寄せた海水がたまり、湾内の水位が上がる。

土砂災害

情報の入手先

- 気象庁 気象警報・注意報 <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html>
- 気象庁 キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>
- 熊本県 土砂災害情報マップ <http://sabo.kiken.pref.kumamoto.jp/>

土砂災害警戒区域 (イエローボーン)

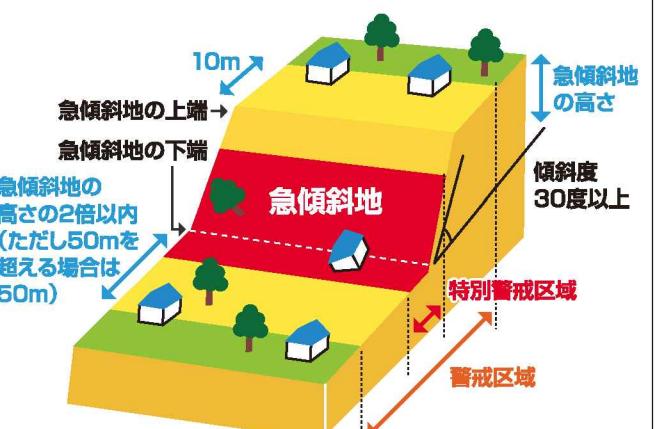
がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

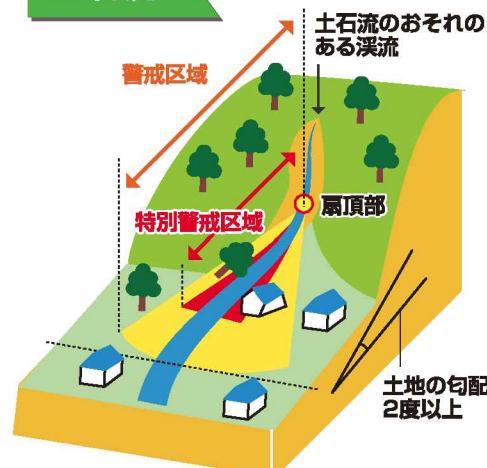
がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨のときは警戒避難が必要となる可能性がありますので、避難情報などの情報にも注意してください。

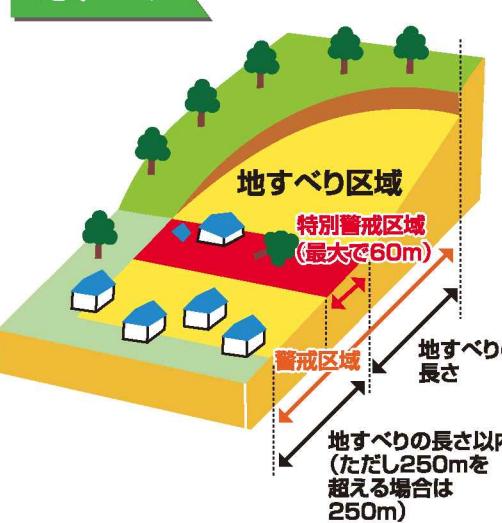
急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)



土石流



地すべり



土砂災害警戒情報

大雨により土砂災害の発生の危険性が高まった場合、熊本県と熊本地方気象台が共同で発表します。

土砂災害警戒情報が発表されたときは「いつ土砂災害が起きてもおかしくない」という非常に危険な状態です。

また、土砂災害警戒情報が発表されていても、その他の防災情報や土砂災害の前兆現象などにも十分注意しながら、適切な避難活動を取ってください。



土砂災害警戒情報は、「天草市東部」、「天草市西部」で発表されます

- | | |
|-------|-------------------------------|
| 天草市東部 | 本渡地域、有明町、御所浦町、倉岳町、栖本町、新和町、五和町 |
| 天草市西部 | 牛深地域、天草町、河浦町 |

台風が発生しやすい時期は、台風予測を事前に確認して、適切な行動をとりましょう。

台風

台風の大きさは、強風域(風速15m/s以上の強い風が吹いているか、地形の影響などがない場合に吹く可能性のある範囲)の半径で表し、台風の強さは、最大風速で区分しています。

台風に関する情報の中では、台風の大きさと強さを組み合わせて、「大型で非常に強い台風」のように呼びます。

●大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

●強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s以上44m/s未満
非常に強い	44m/s以上54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

西側でも、地形によって高潮が発達する可能性がありますので、油断は禁物です。



東側では、風が特に強くなるため、高潮が異常に発達する可能性が高くなります。

台風情報の例



地震

情報の入手先

●気象庁 気象警報・注意報
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html

●気象庁 地震情報
https://www.data.jma.go.jp/multi/quake/index.html
?lang=jp

地震発生時のタイムライン

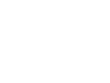
まずは自分の身を守る

- 机の下に入る。
- クッションや雑誌などで頭を保護する。
- 家具やガラス面から離れる。



緊急地震速報

地震発生後、大きな揺れが来る数秒～数十秒前にテレビ・ラジオ・携帯電話などから警報を発表するシステムです。震源に近い地域は、緊急地震速報が強い揺れに間に合わない場合があります。



地震発生

発生から
1~2分

発生から
3分

発生から
5分

発生から
10分～

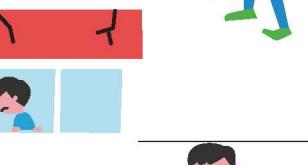
●揺れがおさまったらまず火の始末

- 脱出口を確保する。
- 火元を確認する。
- 家族の安全を確保する。
- 靴をはく。



●隣近所の安全確認・火災の発生を防ぐ

- 隣近所に声をかける。
- 余震に注意。
- 非常持出品を用意する。
- 近所に火が出ていたら初期消火。



●ラジオなどで正しい情報を入手

- 正しい情報をつかむ。
- 電話は緊急連絡を優先。
- 家屋倒壊などの危険があれば避難。



●協力して消火・救出・救護活動

- 助け合いの大切。
- 壊れた建物には入らない。
- 災害情報・被害情報の収集を行い、デマ情報にまどわされない。

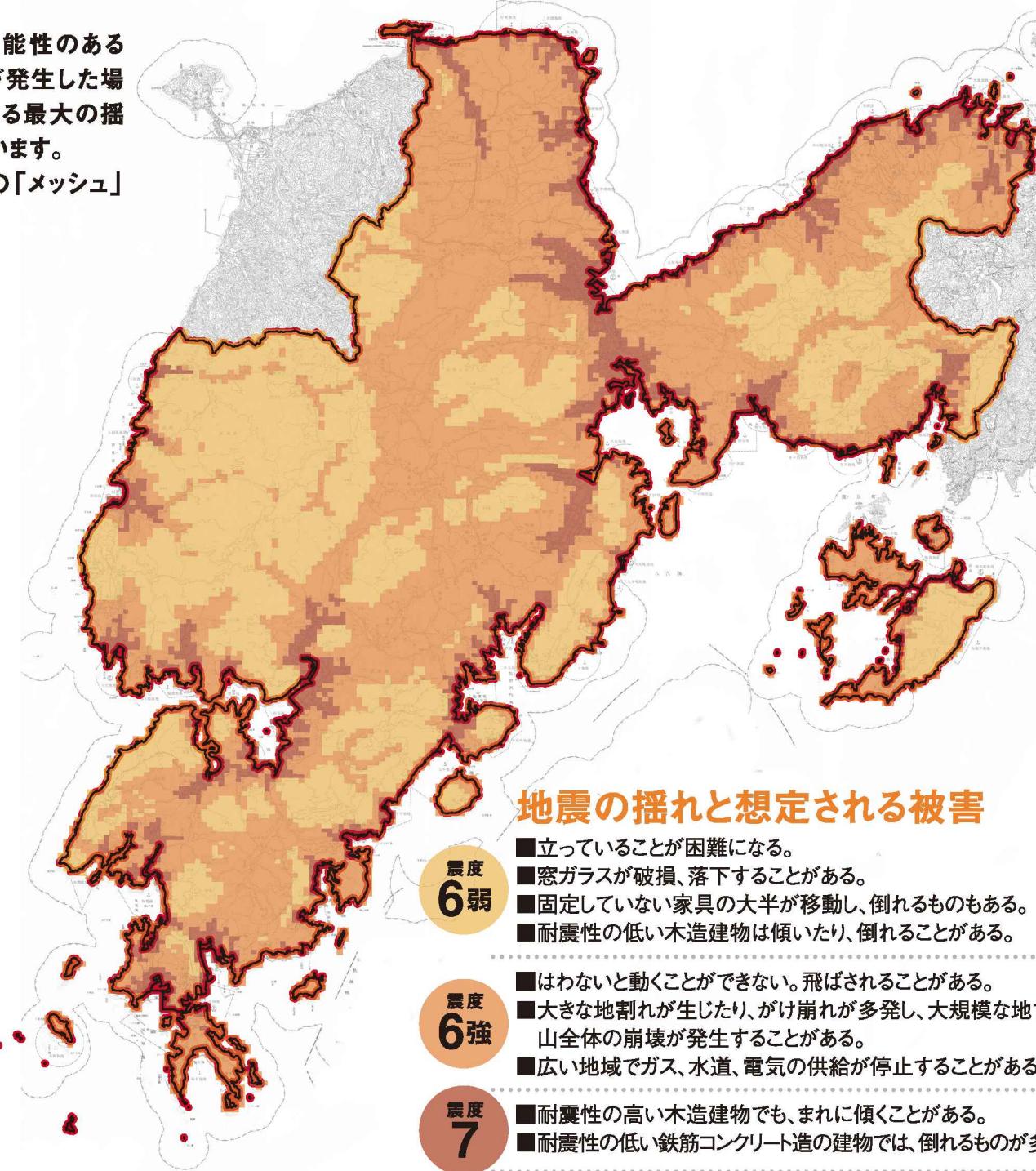


地震ハザードマップ(揺れやすさマップ)

どこでも発生する可能性のあるM6.9の直下型地震が発生した場合に、市内で想定される最大の揺れをマップに表示しています。

計算は、約50m四方の「メッシュ」単位で行っています。

(平成30年 天草市作成)



地震の揺れと想定される被害

- 立っていることが困難になる。
- 窓ガラスが破損、落下することがある。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。
- 耐震性の低い木造建物は傾いたり、倒れることがある。
- はなないと動くことができない。飛ばされることがある。
- 大きな地割れが生じたり、かけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山全体の崩壊が発生することがある。
- 広い地域でガス、水道、電気の供給が停止することがある。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くのことがある。

※出典:「震度と揺れ等の状況(概要)(平成21年3月)」気象庁

津波

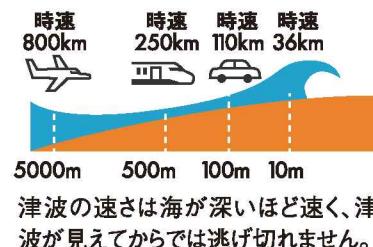
情報の入手先

●気象庁 気象警報・注意報
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html

●気象庁 大津波警報・津波警報・津波注意報
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami

津波の特徴

●ジェット機並みの速さ



●想像以上の高さ



津波の高さは海岸の地形等で変わります。東日本大震災では、想像以上の津波が発生しました。

●予兆もなく襲ってくる



必ずしも、津波の前に引き潮(予兆)があるとは限りません。

●津波は繰り返す

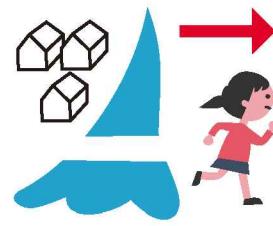


津波は繰り返しくるので、警報や注意報が解除されるまで沿岸部に近づかないでください。

避難のポイント(津波)

●海岸や川には近づかない!

海岸はもちろん、津波は市街地よりも川を早くさかのぼりますので、できるだけ川に近づかないで避難しましょう。



●高い場所へ避難する

海岸から「より遠くへ」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。



海拔表示板を目安により高いところを目指してください。

津波に関する警報・注意報

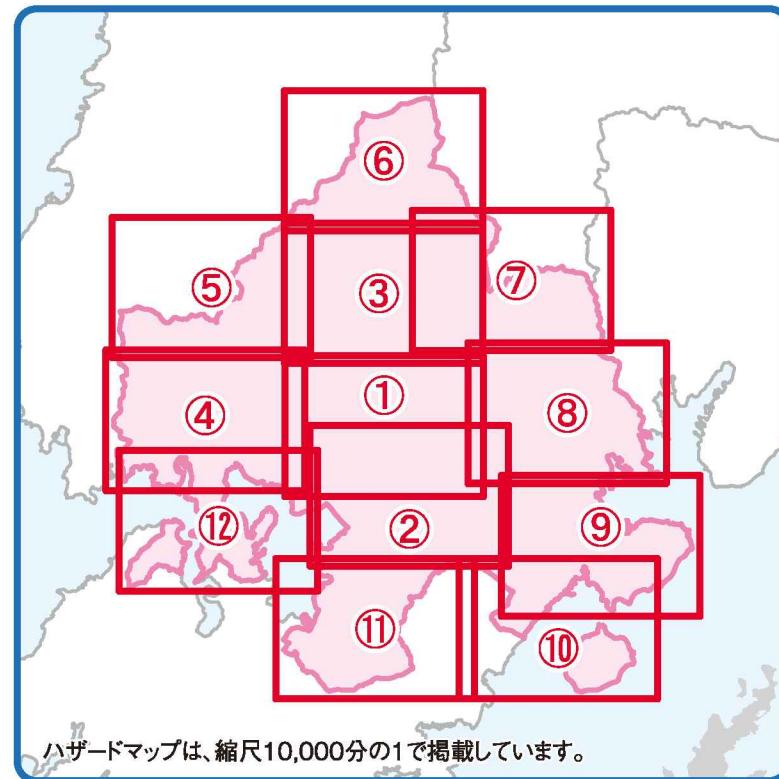
津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報が気象庁から発表され、その後の予想される津波の高さや津波の到着予想時刻などが発表されます。

種類	発表される津波の高さ		想定される被害	るべき行動
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の発表		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難してください。
津波注意報	1m (0.2m≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかが流失し小型船舶が転覆します。	海の中にいる人は、ただちに海から上がり、海岸から避難してください。

ハザードマップの見方

このハザードマップに示した危険区域以外にも、災害が発生する可能性がありますのでご注意ください。

洪水・土砂災害ハザードマップ



●洪水浸水想定区域について

想定最大規模の大雨に伴う洪水によって天草市河浦地域に係る河川が氾濫した場合の「浸水する範囲(浸水域)」と「浸水する深さ(浸水深)」を地図上に示しています。

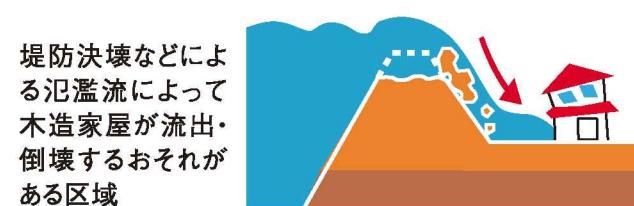
●土砂災害警戒区域・特別警戒区域について

熊本県が告示した、「急傾斜地の崩壊」、「土石流」、「地すべり」の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を示しています。(令和5年度末時点)

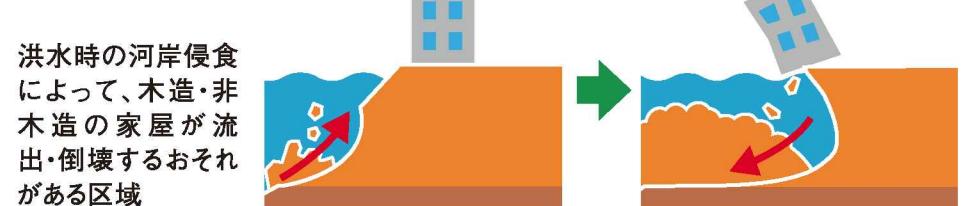
●家屋倒壊等氾濫想定区域(早期の立退き避難が必要な区域)

家屋の倒壊・流出等の危険がある区域の目安として、家屋倒壊等氾濫想定区域を示しています。

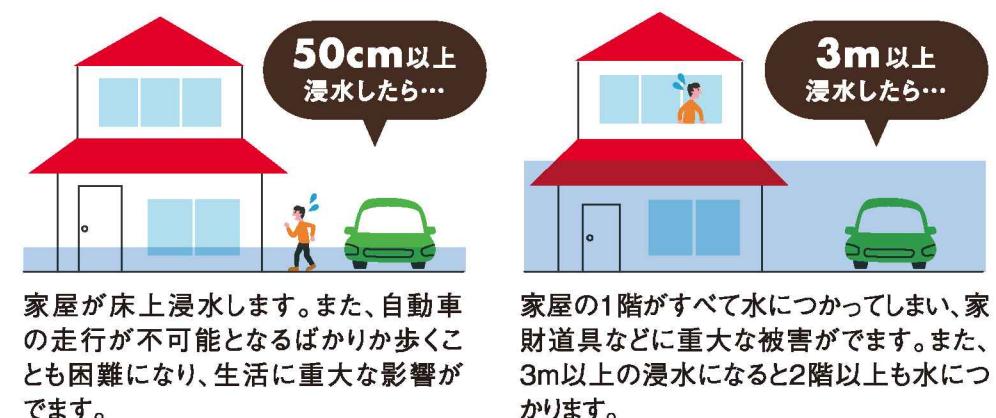
氾濫流による家屋倒壊等



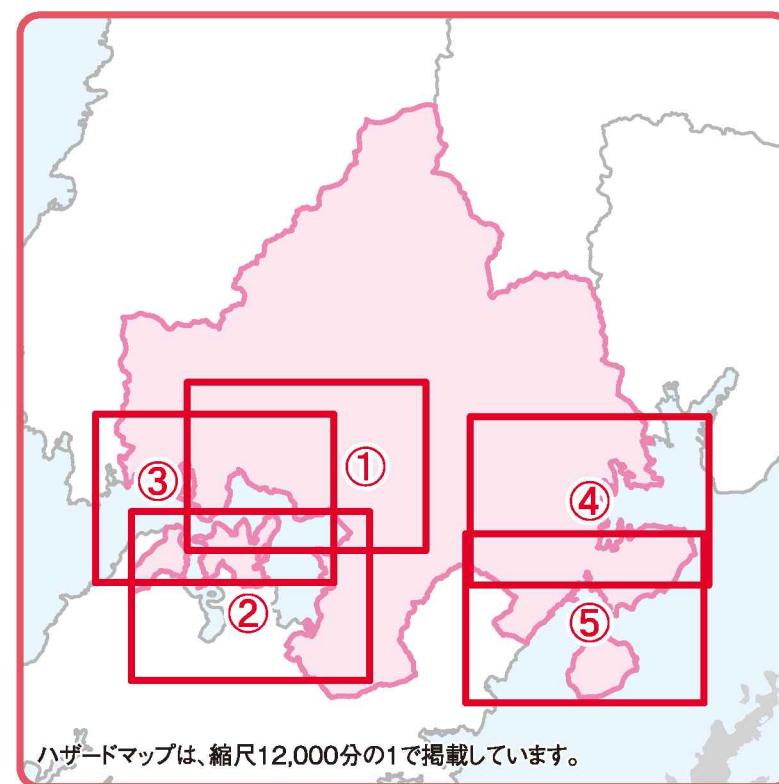
河岸侵食による家屋倒壊等



●想定浸水深の目安



高潮ハザードマップ



●高潮浸水想定区域について

熊本県が令和3年11月に作成した、最大クラスの台風に伴う高潮が発生したときの高潮浸水想定区域を地図上に示しています。

高潮浸水想定区域の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、台風の強さと経路を複数設定してシミュレーションを行い、各地点で一番浸水の深いものを地図上に示しています。

- 中心気圧:室戸台風(1934年)を基本(900hPa)
- 台風の半径:75km(伊勢湾台風(1959年)を参考)を採用
- 台風の移動速度:73km/h(同上)を採用
(天草沿岸の一部で、波高が最大となる50km/hを採用)
- 潮位:各海域の朔望平均満潮位に、異常潮位0.128mを考慮
- 構造物:護岸、堤防等は全て決壊

※朔望(さくぼう) 平均満潮位:新月(朔)および満月(望)の日から5日以内に現れる各月の最高満潮面について、1年以上にわたって平均した値。

ため池ハザードマップ



●ため池浸水想定区域について

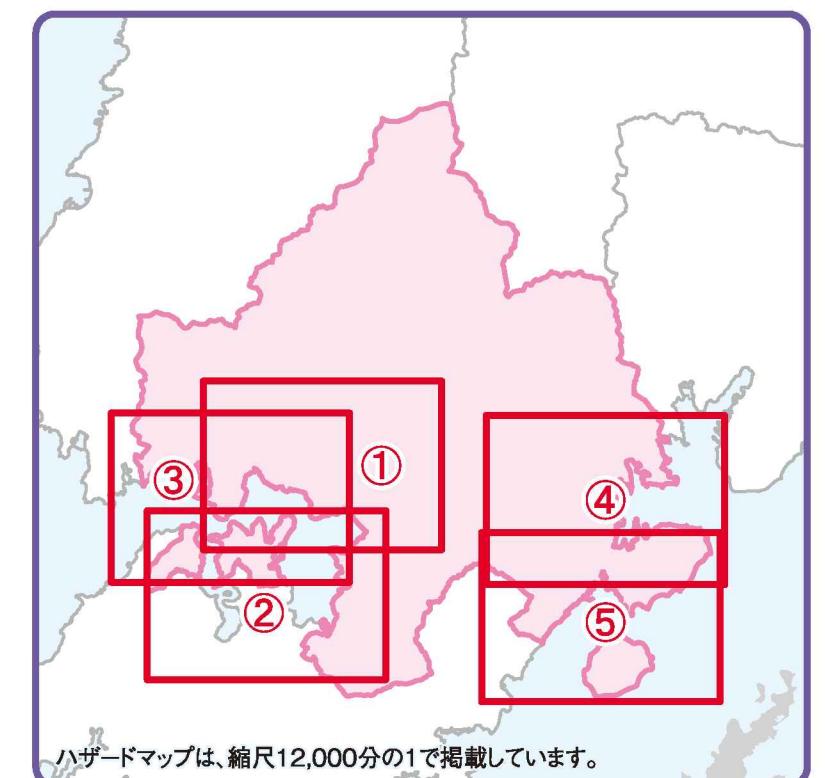
このハザードマップは、堤体が豪雨や地震により破堤した場合を想定し、浸水被害が想定される範囲を示したものです。

満水状態のため池が、大地震など何らかの原因で瞬時に決壊し、堰を切ったように全ての水が流れ出したものとしています。

対象ため池以外のため池による決壊、周辺地域の河川や水路の氾濫、土砂災害などは考慮していないため、実際には違う浸水域となる場合もあります。

各ため池の詳細な情報については、天草市HPよりご確認ください。

津波ハザードマップ



●津波浸水想定区域について

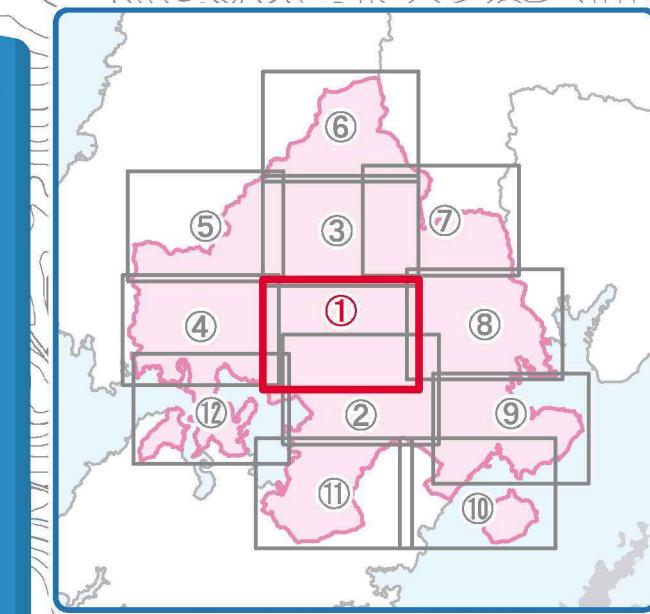
熊本県内の沿岸部を対象に、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される「浸水する範囲(浸水域)」と「浸水する深さ(浸水深)」を示しています(平成25年3月 熊本県作成)。

津波の想定には3つの断層モデル「雲仙断層群」、「布田川・日奈久断層帯」、「南海トラフの巨大地震」を対象に6つのケースの津波を想定し、各計算結果の最大値を示しています。

- 潮位:各海域の朔望平均満潮位
- 構造物:護岸、堤防等は全て決壊

※朔望(さくぼう) 平均満潮位:新月(朔)および満月(望)の日から5日以内に現れる各月の最高満潮面について、1年以上にわたって平均した値。





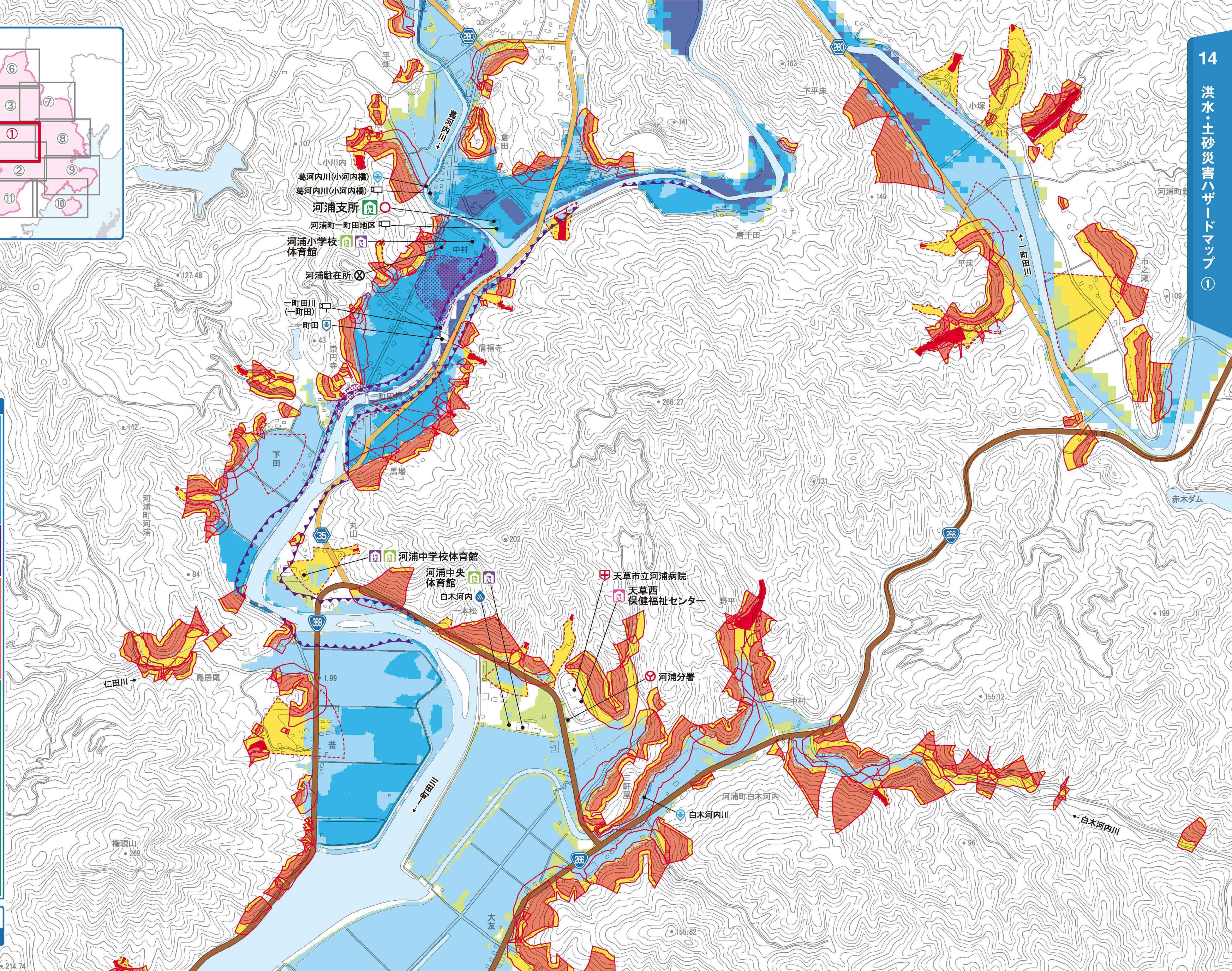
洪水・土砂災害ハザードマップ①

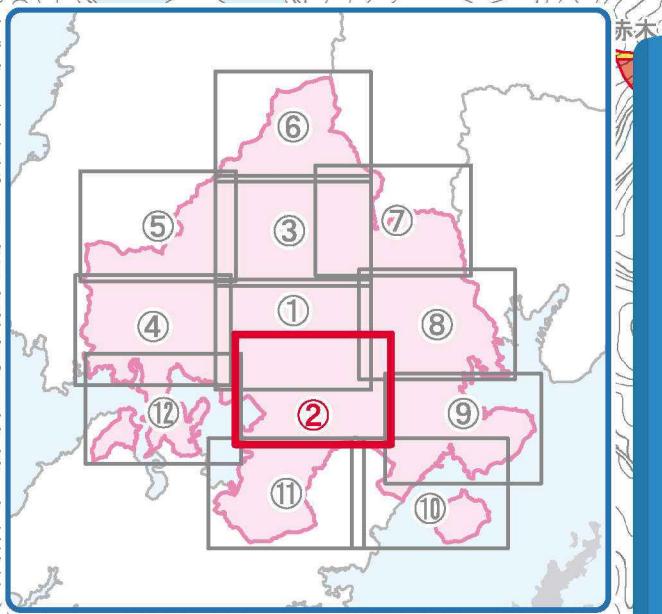
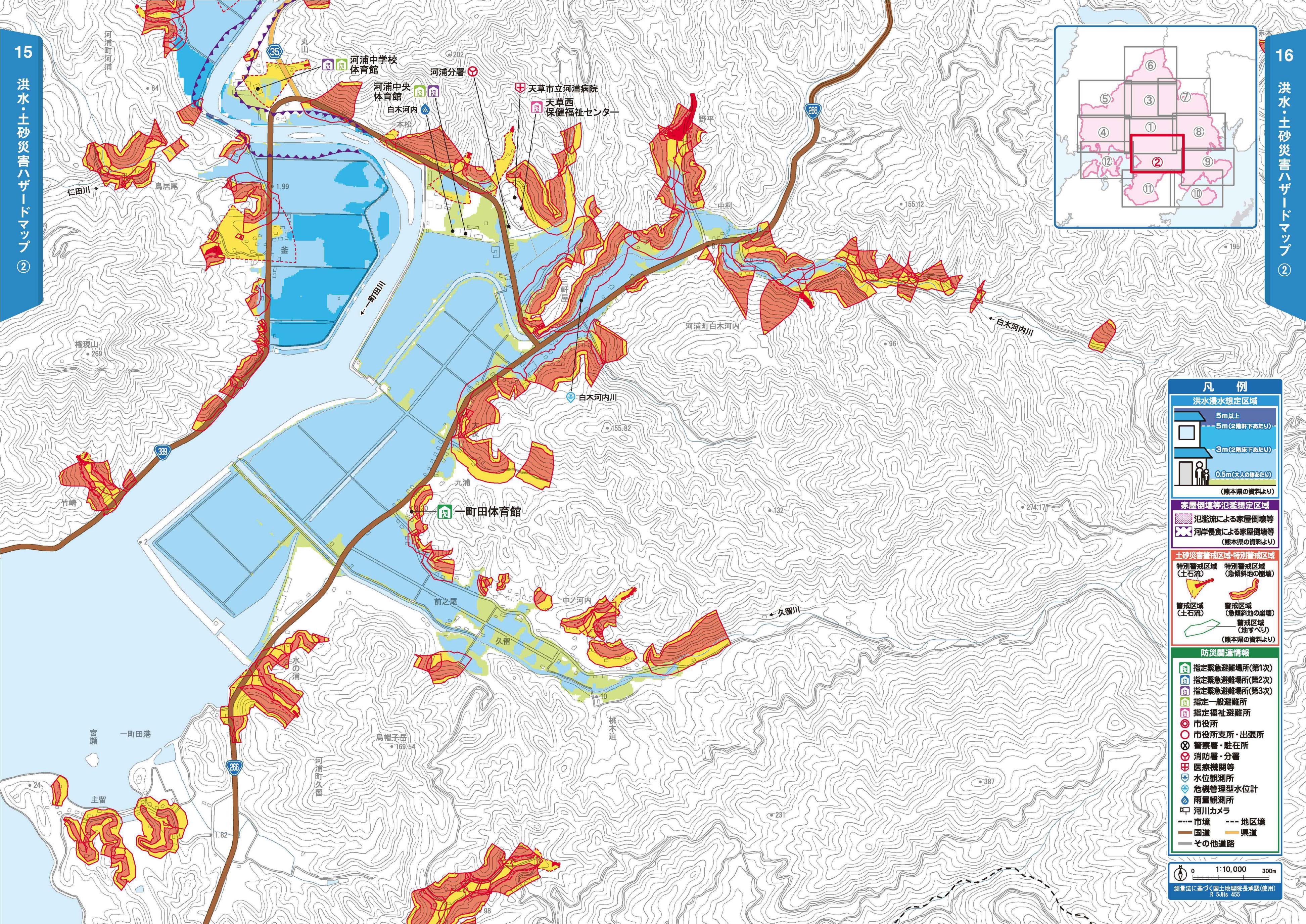
凡 例	
洪水浸水想定区域	
5m以上	5m(2階床下あたり)
-----	-----
3m(2階床下あたり)	0.5m(大人の膝あたり)
-----	(熊本県の資料より)
家屋倒壊等氾濫想定区域	
氾濫による家屋倒壊等	河岸侵食による家屋倒壊等
-----	(熊本県の資料より)
土砂災害警戒区域・特別警戒区域	
特別警戒区域 (土石流)	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
警戒区域 (土石流)	警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
-----	警戒区域 (地すべり)
(熊本県の資料より)	(熊本県の資料より)
防災関連情報	
指定緊急避難場所(第1次)	
指定緊急避難場所(第2次)	
指定緊急避難場所(第3次)	
指定一般避難所	
指定福祉避難所	
市役所	
市役所支所・出張所	
警察署・駐在所	
消防署・分署	
医療機関等	
水位観測所	
雨量観測所	
河川カメラ	
--- 市境 --- 地区境	
国道	県道
その他道路	

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)
R 50hs 45s

1:10,000 300m

洪水・土砂災害ハザードマップ①





凡例

洪水浸水想定区域

- 5m以上 (5m以上)
- 5m(2階軒下あたり) (5m (2nd floor eaves level))
- 3m(2階床下あたり) (3m (2nd floor floor level))
- 0.5m(大人の膝あたり) (0.5m (adult's knee level))

(熊本県の資料より)

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 氾濫流による家屋倒壊等 (Flooding flow causing house collapse etc.)
- 河岸侵食による家屋倒壊等 (Bank erosion causing house collapse etc.)

(熊本県の資料より)

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

- 特別警戒区域 (土石流) (Special Alert Area (Landslide))
- 特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊) (Special Alert Area (Collapse of steep slope))
- 警戒区域 (土石流) (Alert Area (Landslide))
- 警戒区域 (急傾斜地の崩壊) (Alert Area (Collapse of steep slope))
- 警戒区域 (地すべり) (Alert Area (Ground subsidence))

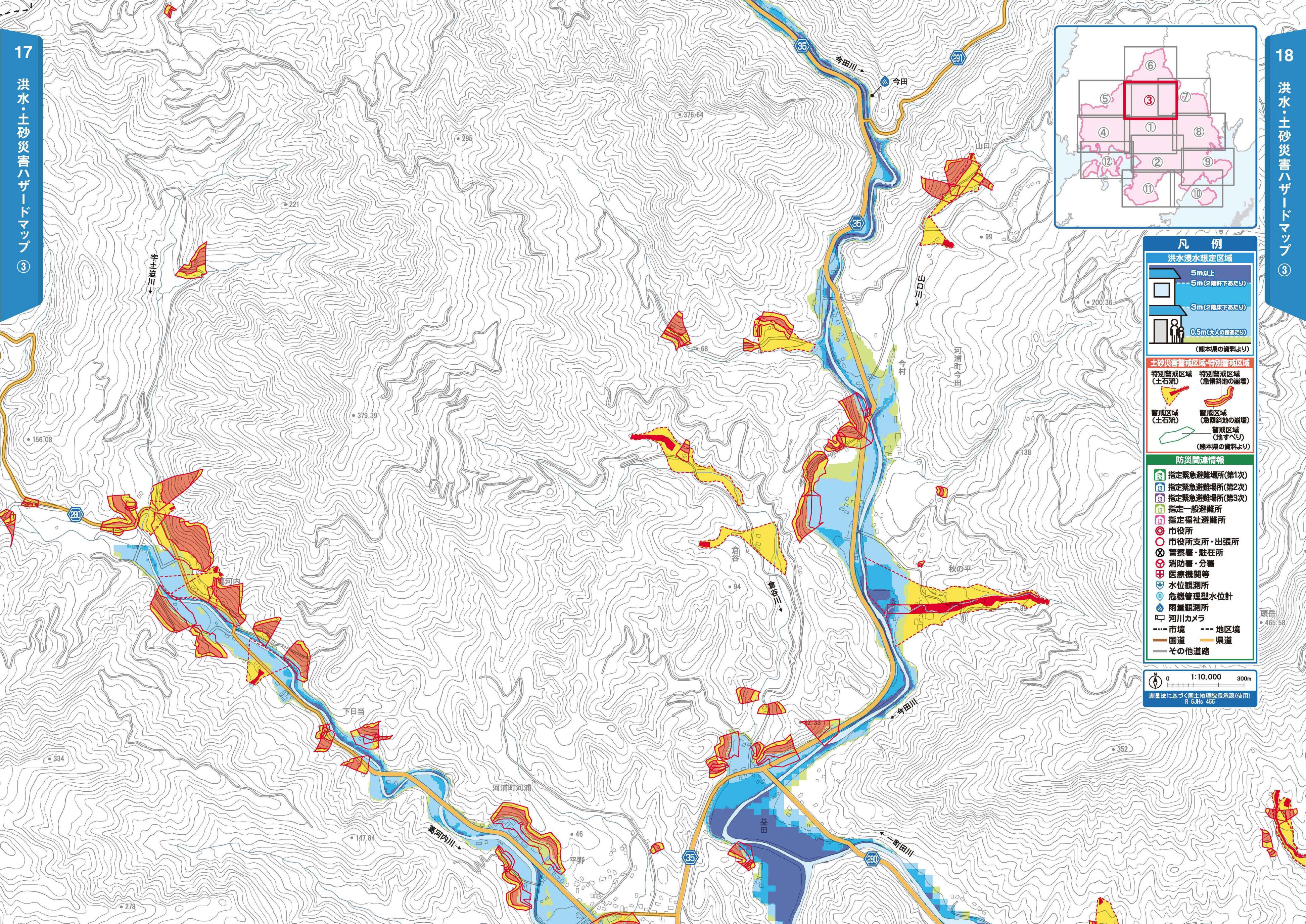
(熊本県の資料より)

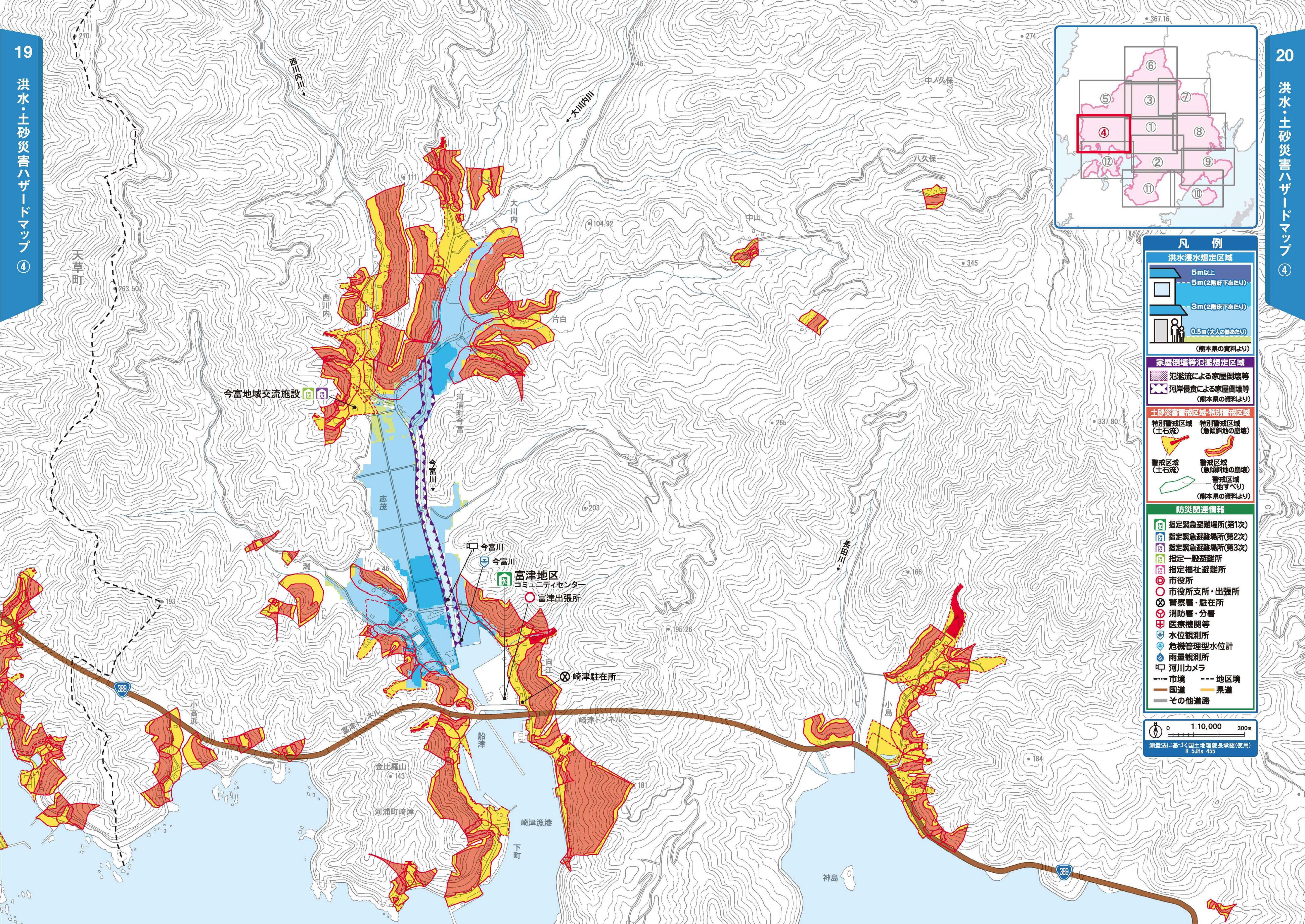
防災関連情報

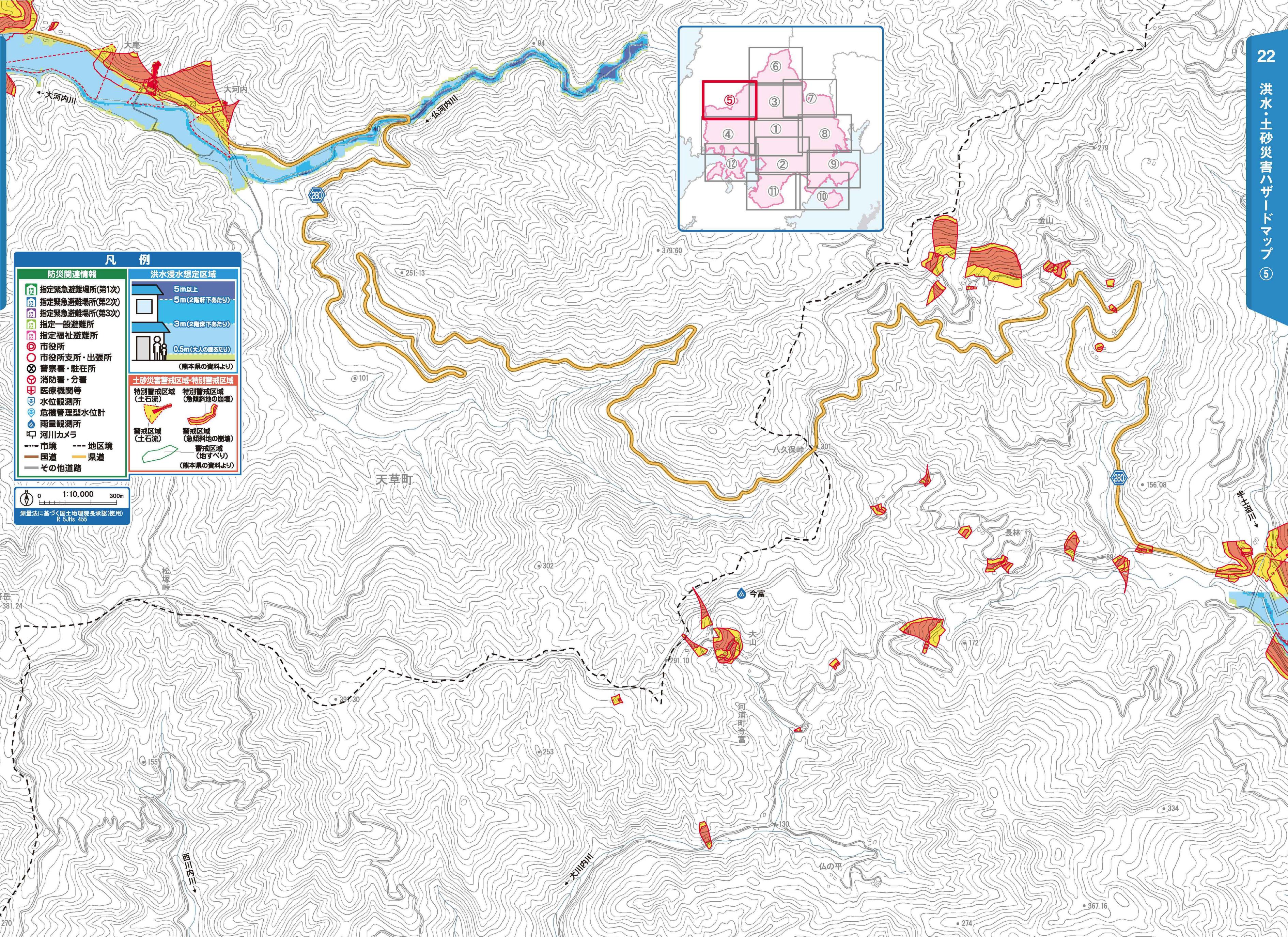
- 指定緊急避難場所(第1次) (Designated Emergency Evacuation Site (1st Type))
- 指定緊急避難場所(第2次) (Designated Emergency Evacuation Site (2nd Type))
- 指定緊急避難場所(第3次) (Designated Emergency Evacuation Site (3rd Type))
- 指定一般避難所 (Designated General Evacuation Site)
- 指定福祉避難所 (Designated Welfare Evacuation Site)
- 市役所 (City Office)
- 市役所支所・出張所 (City Office Sub-Office/派出所)
- 警察署・駐在所 (Police Station/Resident Office)
- 消防署・分署 (Fire Station/Sub-Station)
- 医療機関等 (Medical Institutions)
- 水位観測所 (Water Level Observation Station)
- 危機管理型水位計 (Crash Management Water Level Meter)
- 雨量観測所 (Rainfall Observation Station)
- 河川カメラ (River Camera)
- 市境 (Municipal Boundary)
- 地区境 (District Boundary)
- 国道 (National Route)
- 県道 (Prefectural Route)
- その他道路 (Other roads)

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)
R 5JHs 455

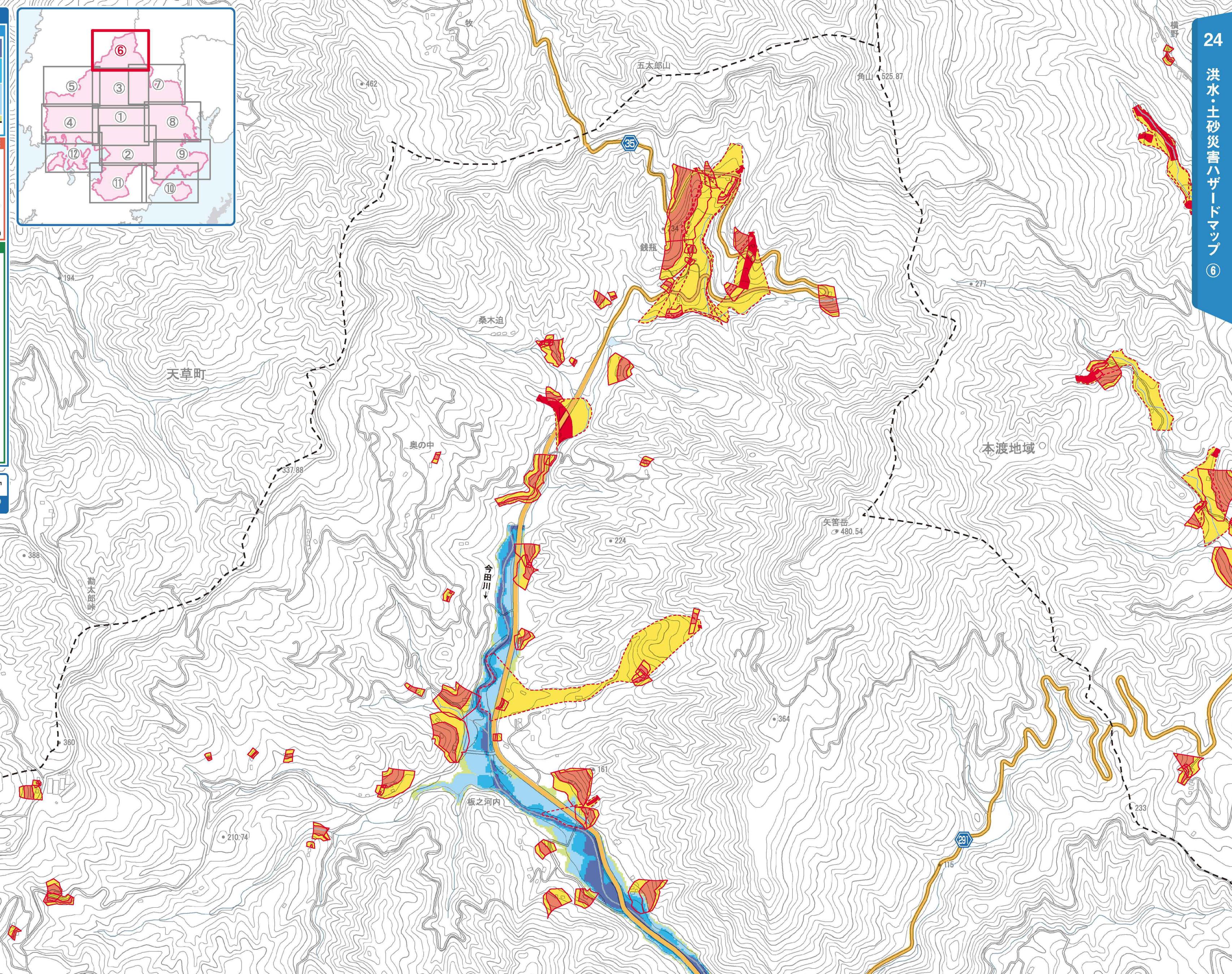
洪水・土砂災害ハザードマップ



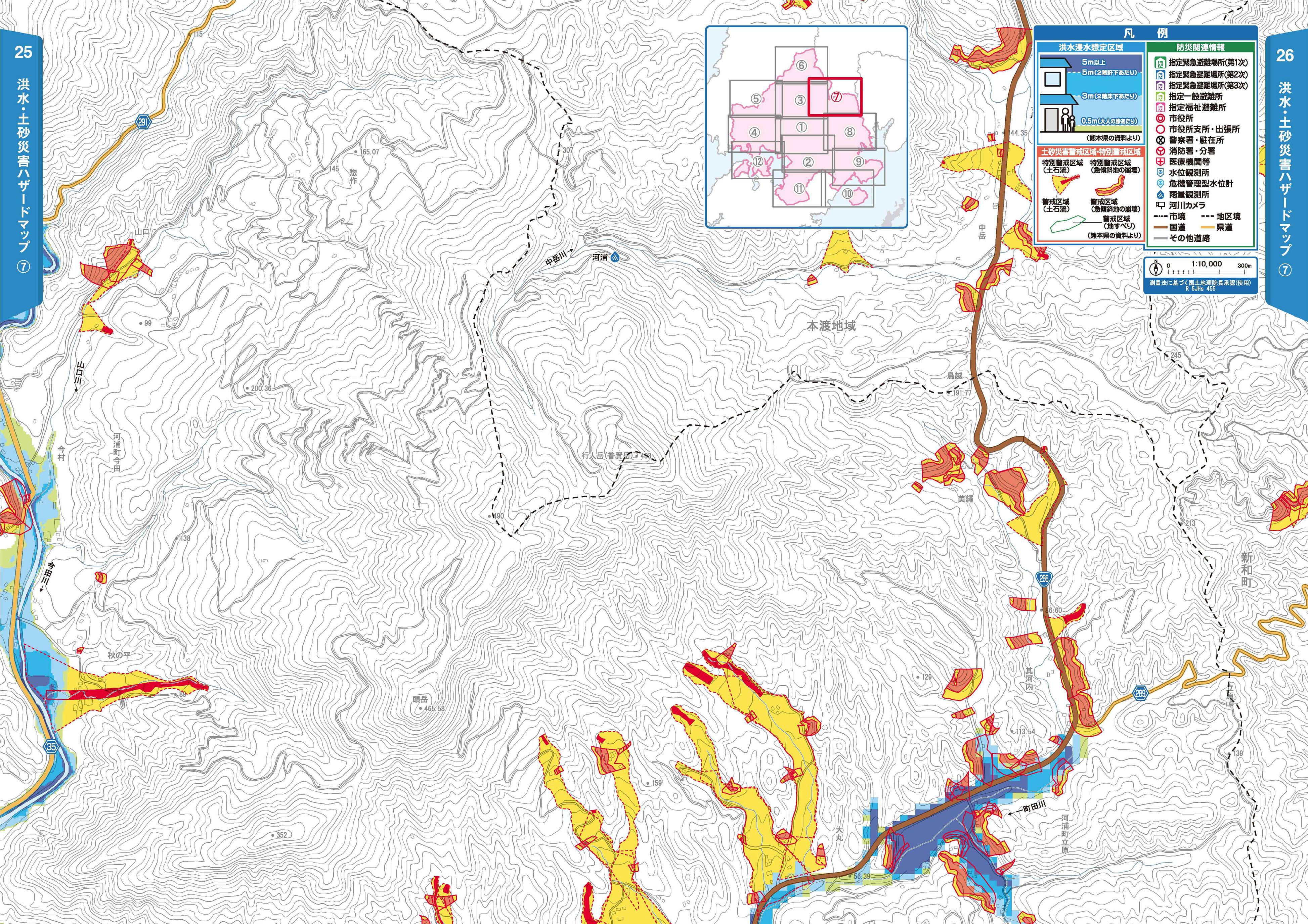




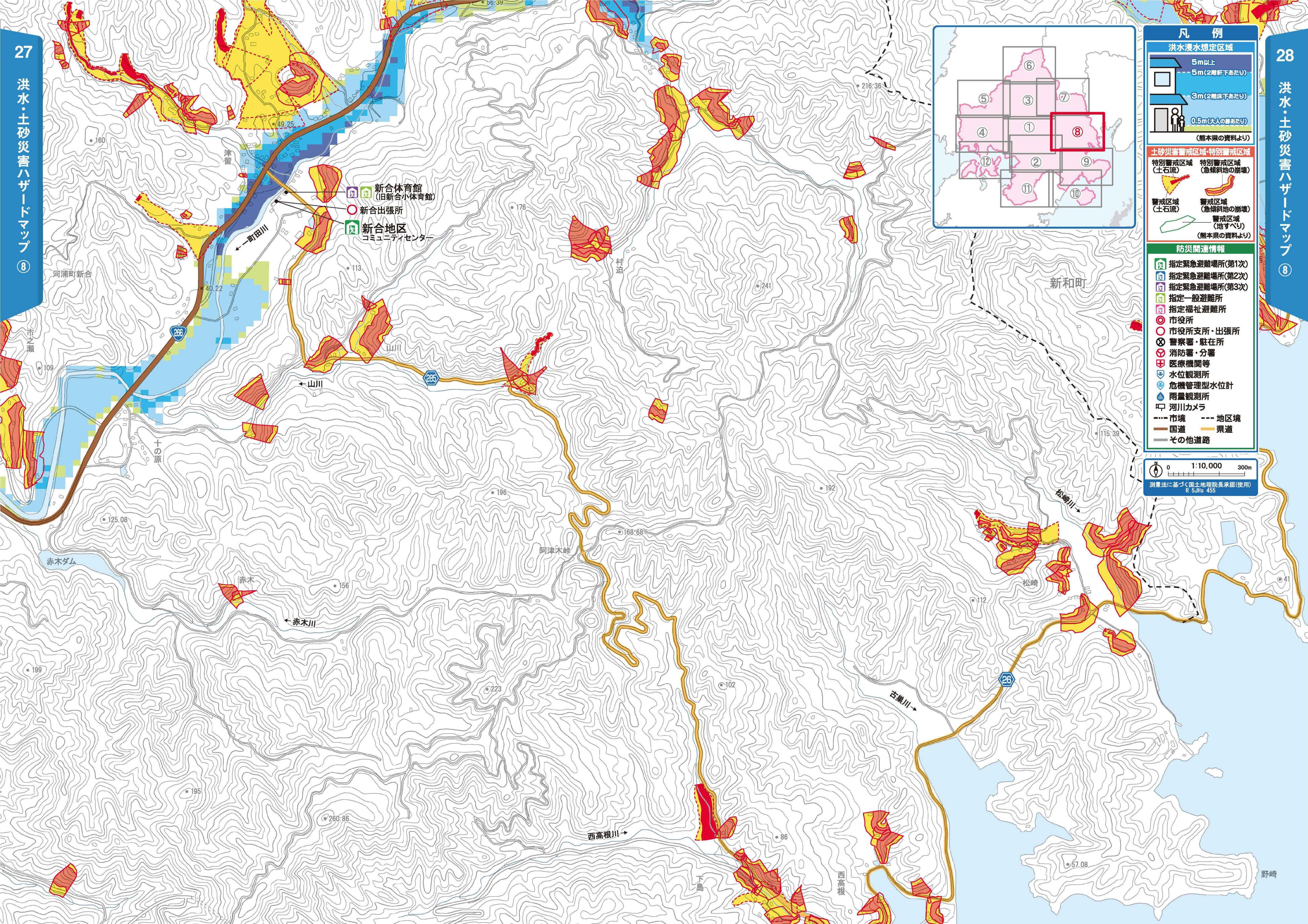
本渡地域○



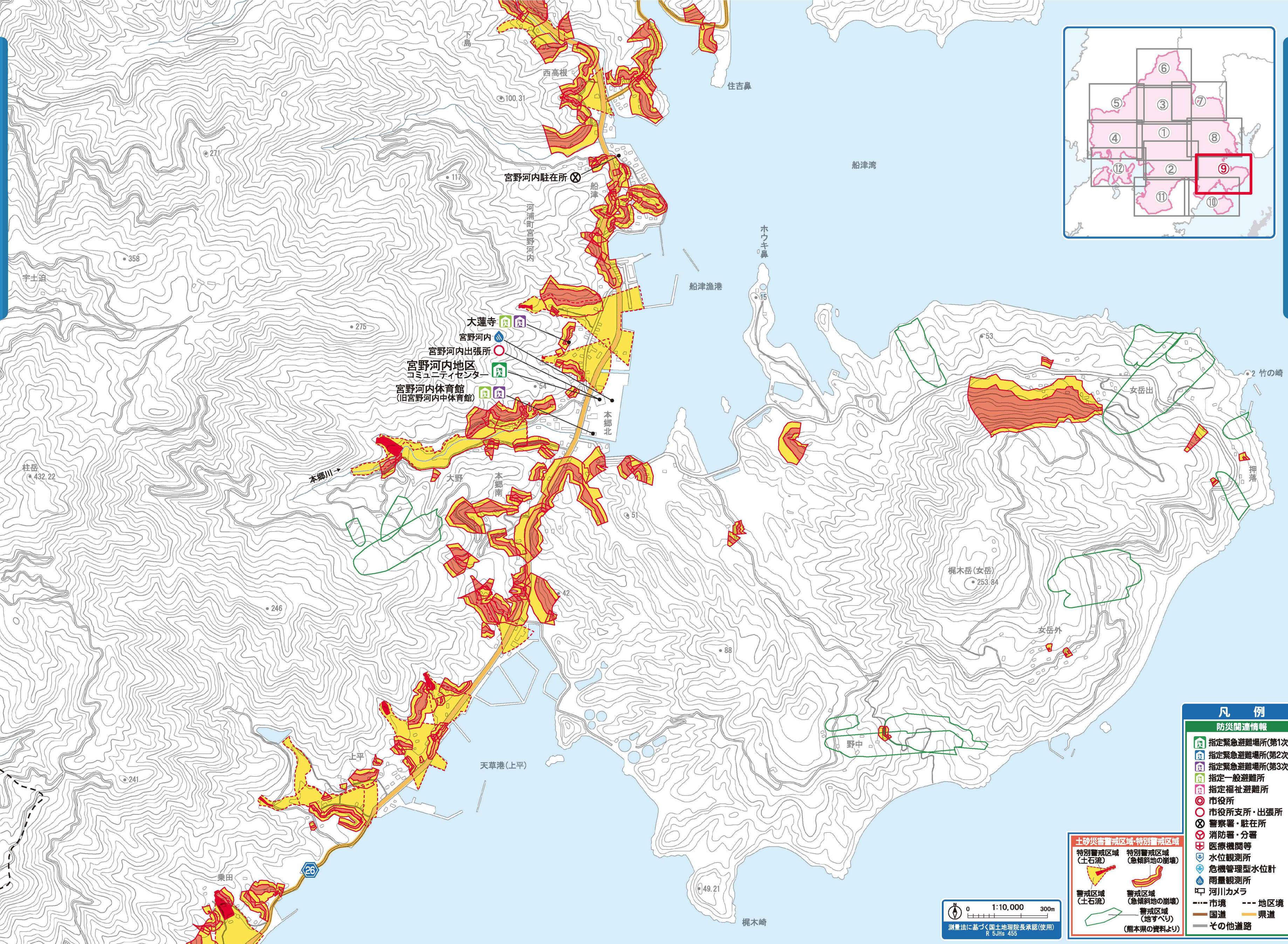
洪水・土砂災害ハザードマップ



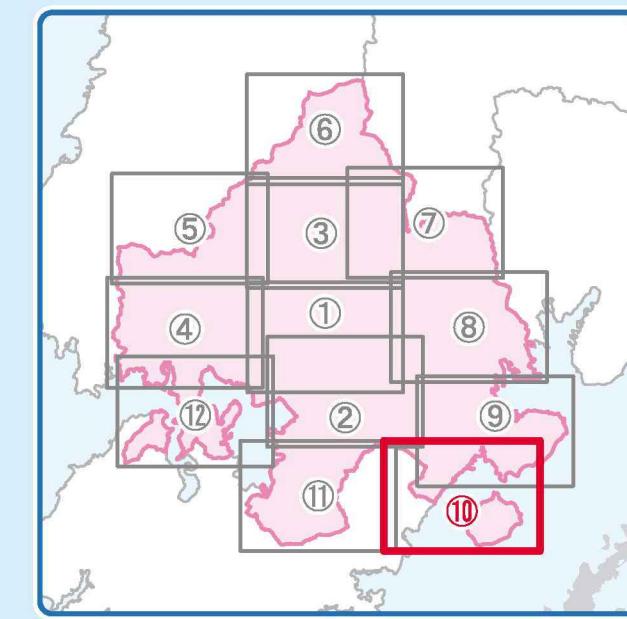
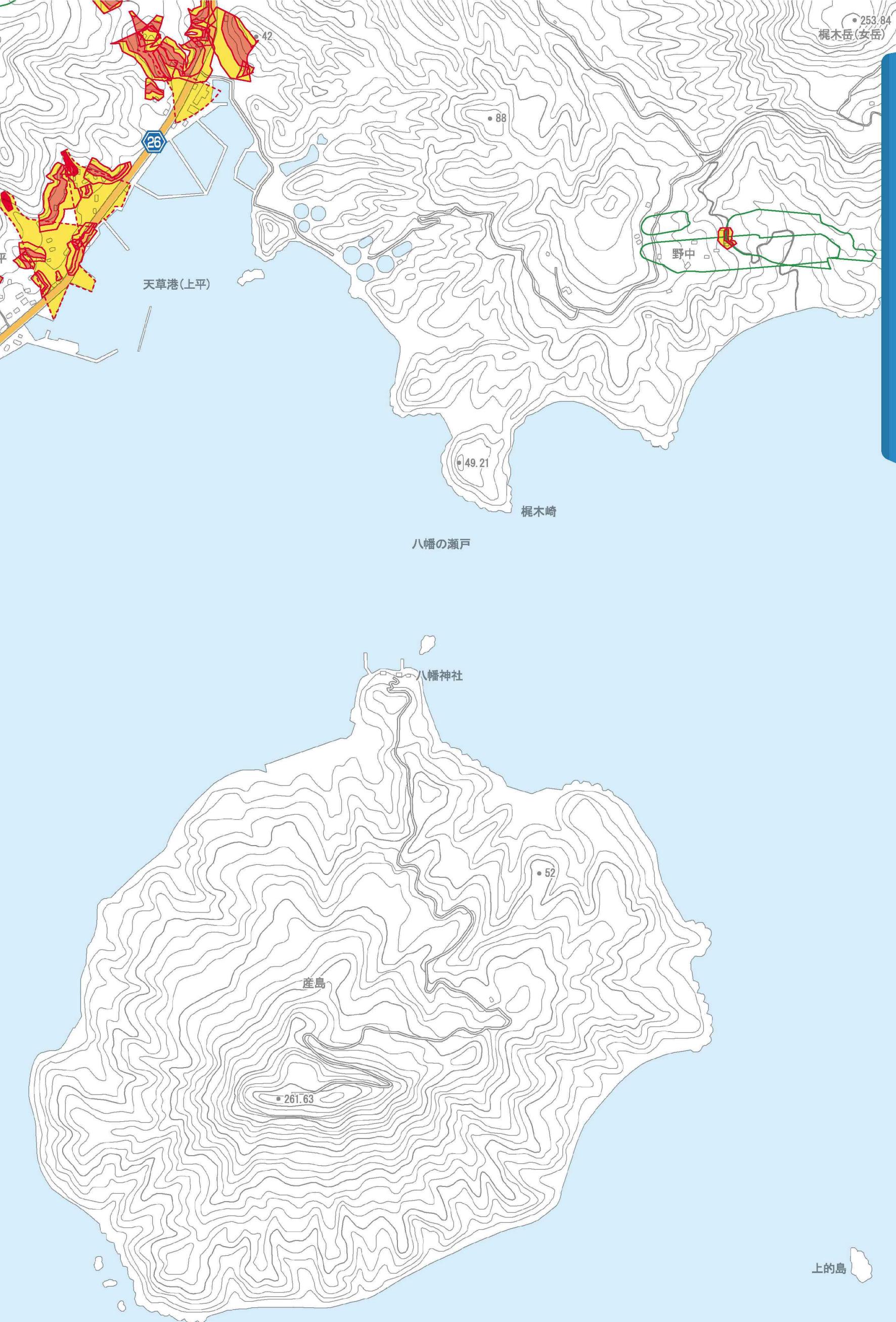
洪水・土砂災害ハザードマップ



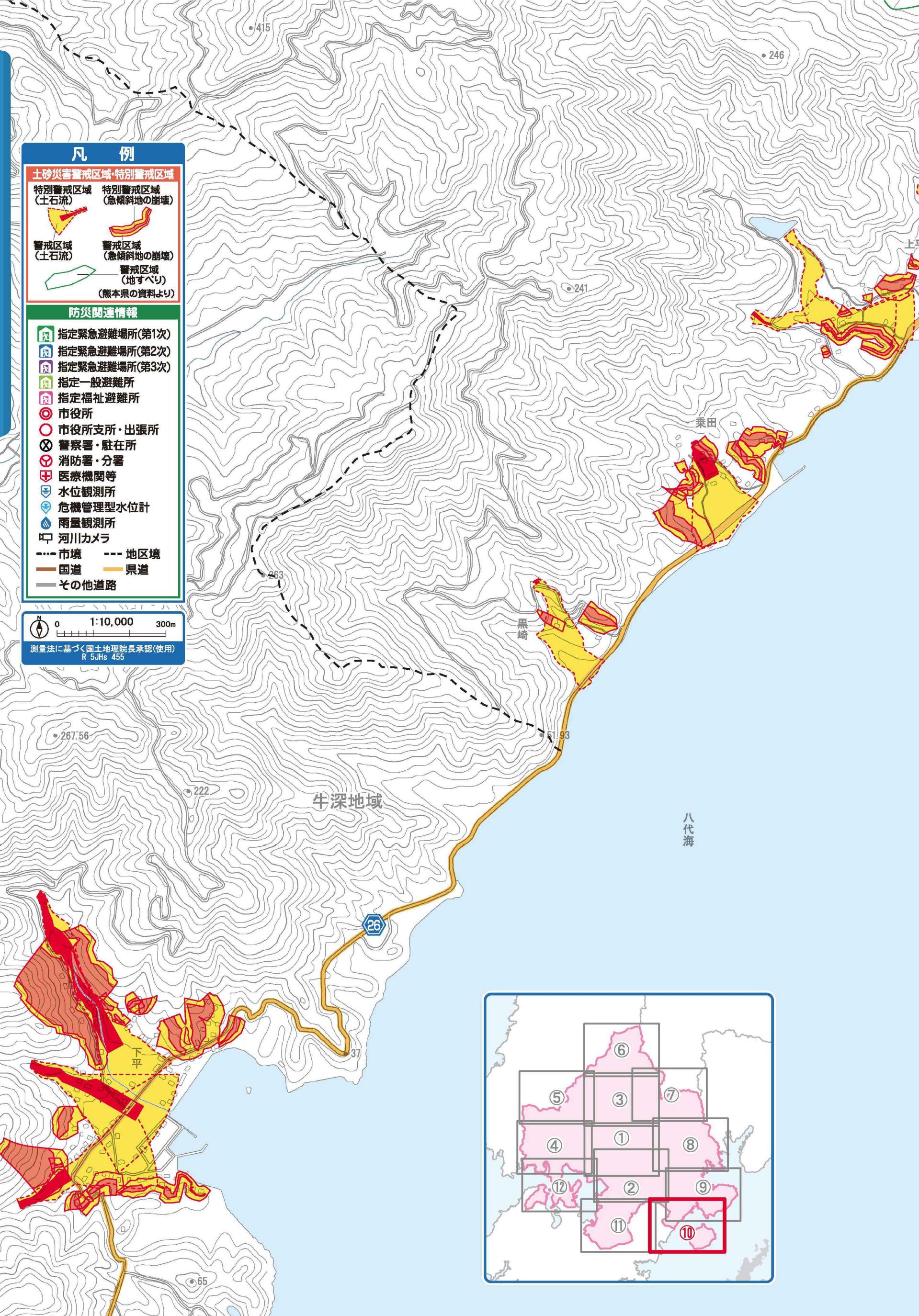
洪水・土砂災害ハザードマップ ⑨



32 洪水・土砂災害ハザードマップ ⑩

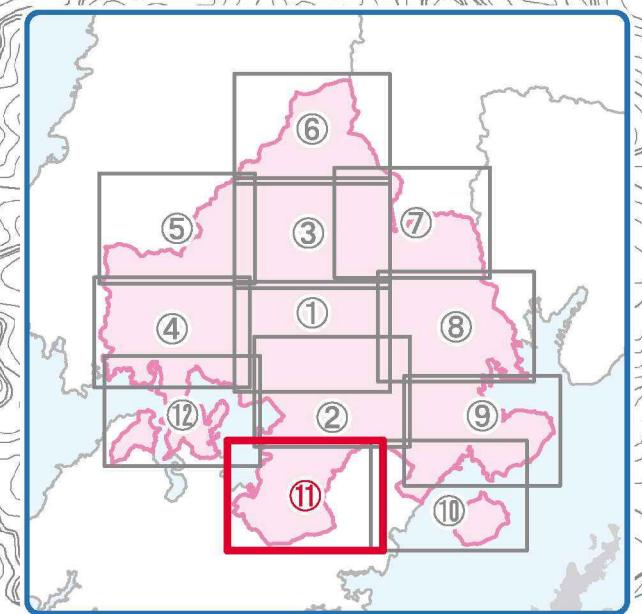


31 洪水・土砂災害ハザードマップ ⑩



凡 例	
土砂災害警戒区域・特別警戒区域	特別警戒区域(土石流)
警戒区域(土石流)	警戒区域(急傾斜地の崩壊)
警戒区域(地すべり)	(熊本県の資料より)
防災関連情報	
指定緊急避難場所(第1次)	
指定緊急避難場所(第2次)	
指定緊急避難場所(第3次)	
指定一般避難所	
指定福祉避難所	
市役所	
市役所支所・出張所	
警察署・駐在所	
消防署・分署	
医療機関等	
水位観測所	
危機管理型水位計	
雨量観測所	
河川カメラ	
--- 市境 --- 地区境	
国道	県道
その他道路	
測量法に基づく国土地理院長承認(使用)	
R 5Jhs 455	

1:10,000 300m

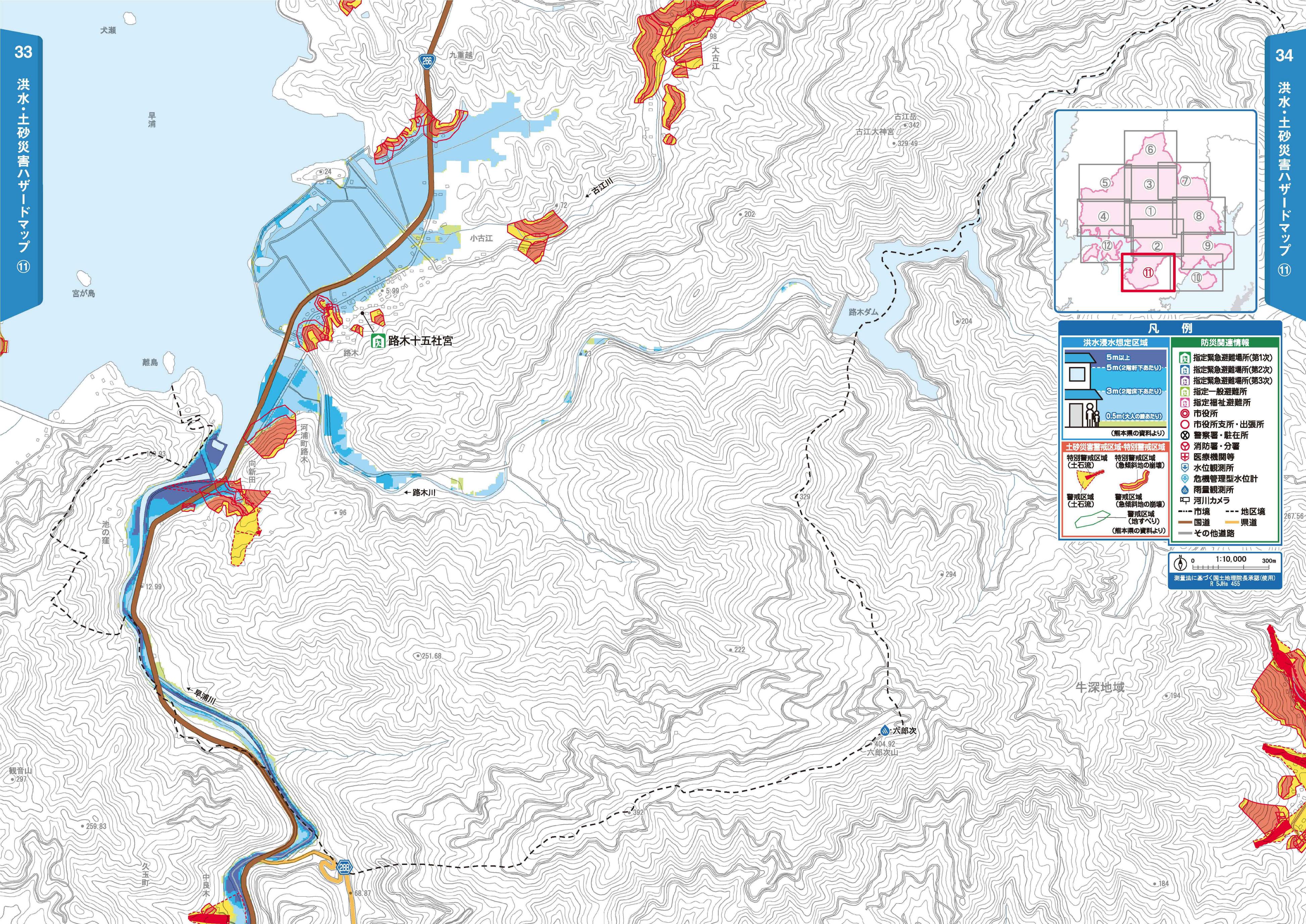


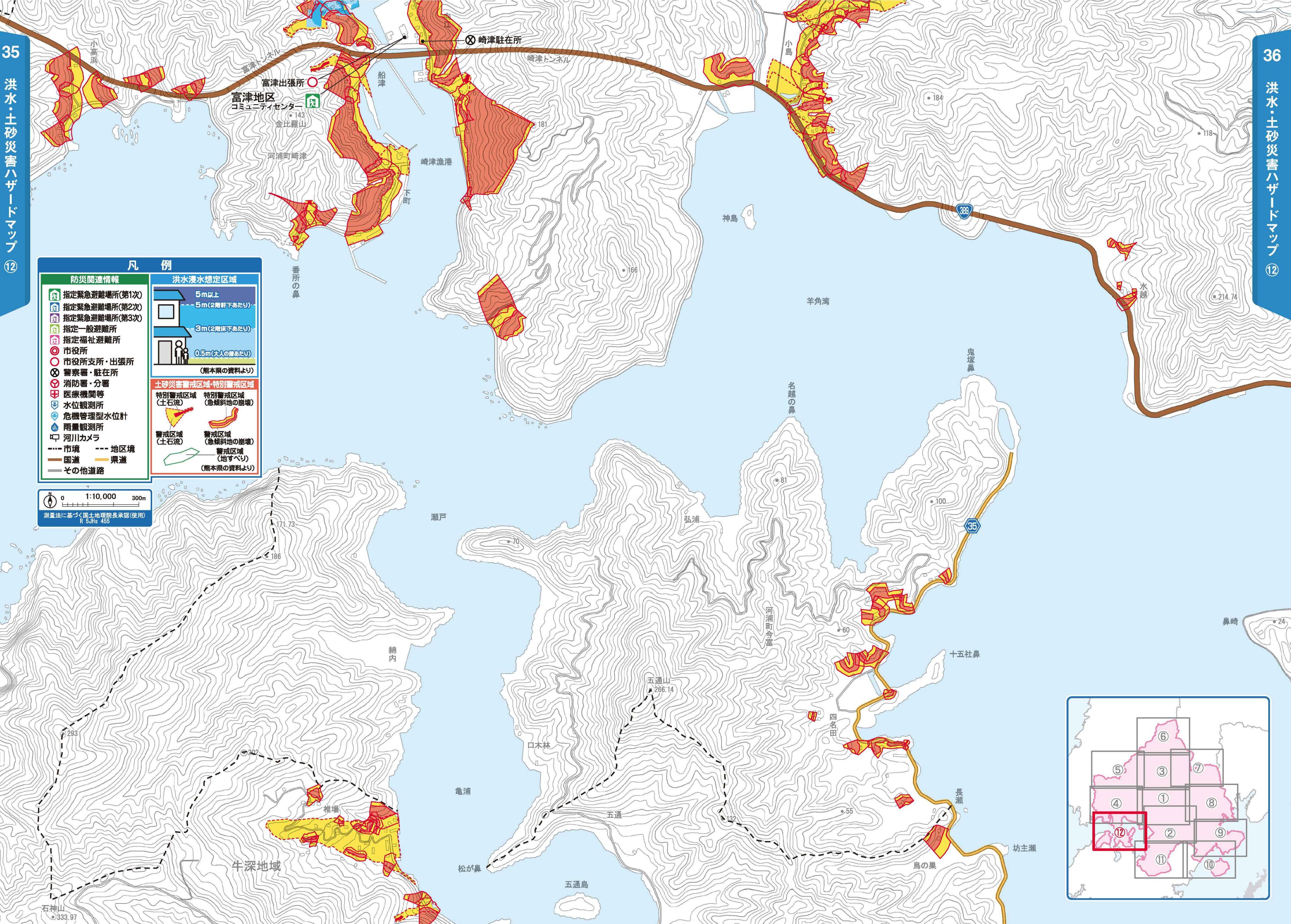
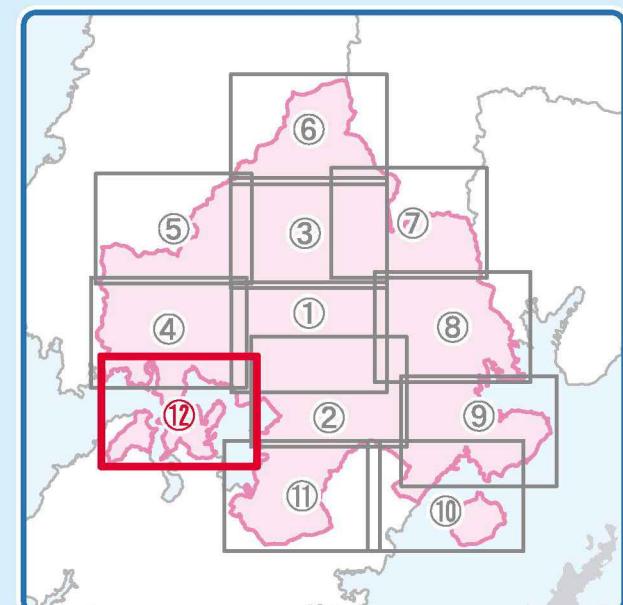
凡例

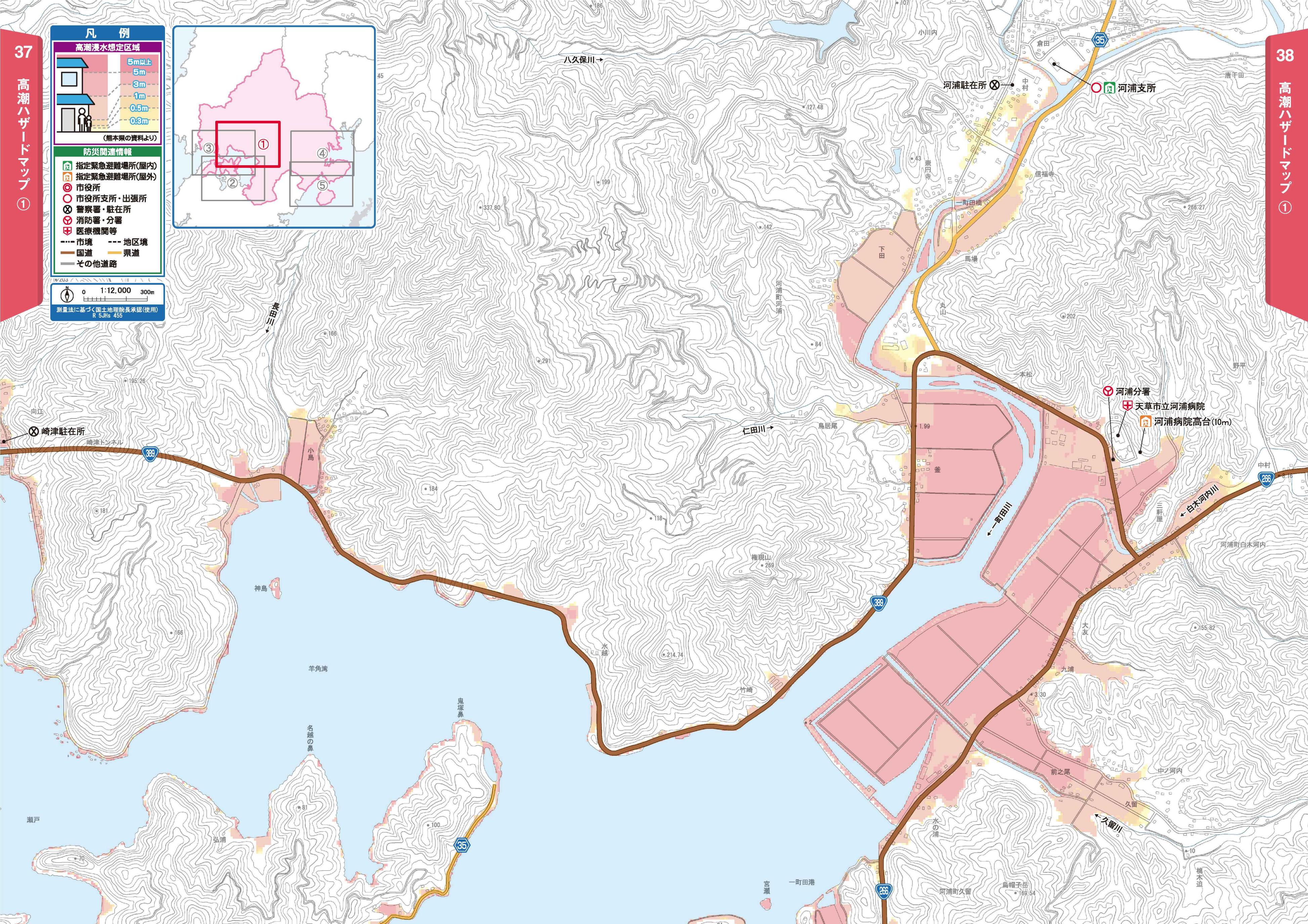
洪水浸水想定区域		防災関連情報
5m以上	5m(2階軒下あたり)	指定緊急避難場所(第1次)
3m	3m(2階床下あたり)	指定緊急避難場所(第2次)
0.5m	(大人の膝あたり)	指定緊急避難場所(第3次)
		指定福祉避難所
		市役所
		市役所支所・出張所
		警察署・駐在所
		消防署・分署
		医療機関等
		水位観測所
		危機管理型水位計
		雨量観測所
		河川カメラ
		市境 --- 地区境
		国道 --- 県道
		その他道路

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)
R 5JHs 455

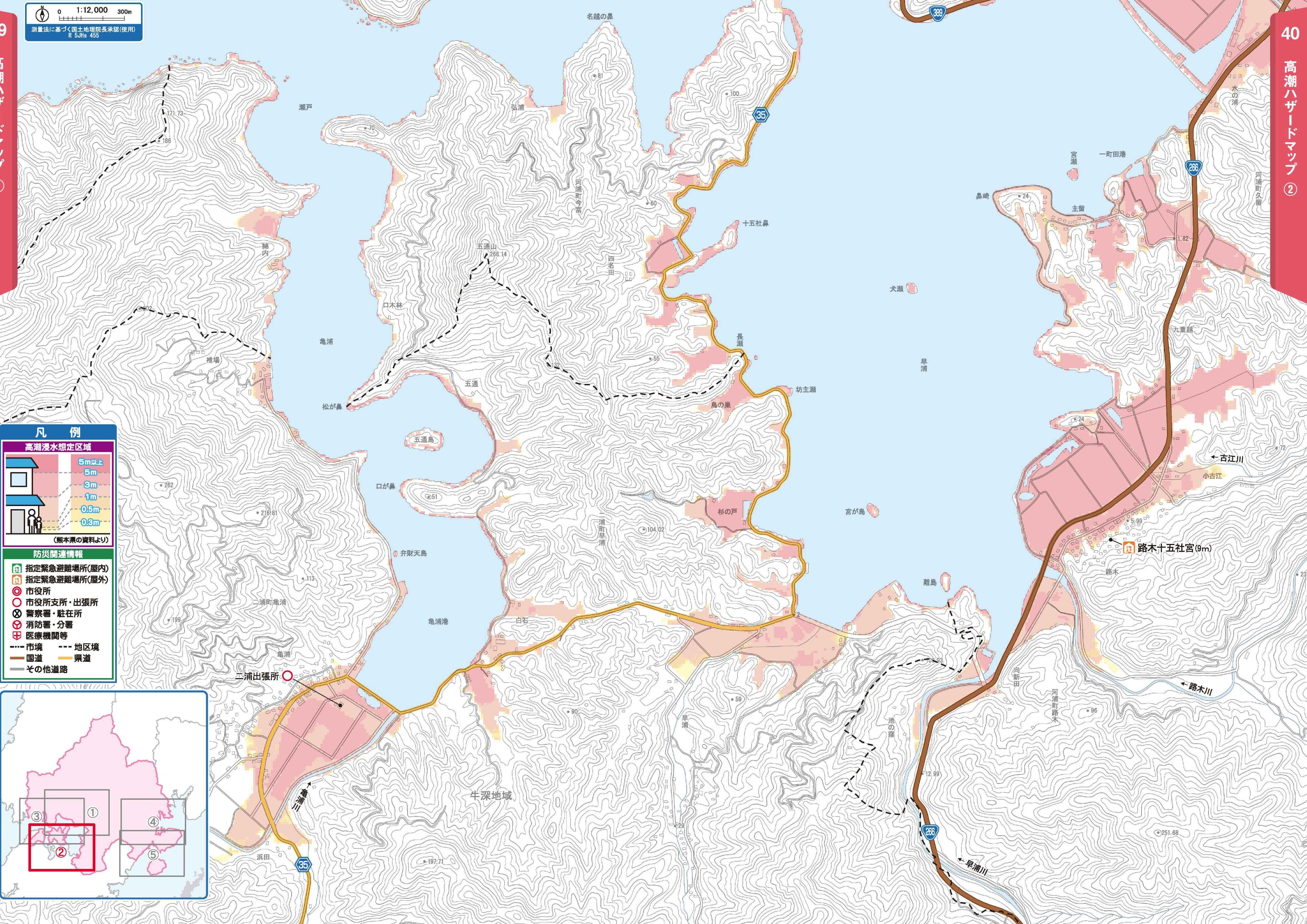
牛深地域

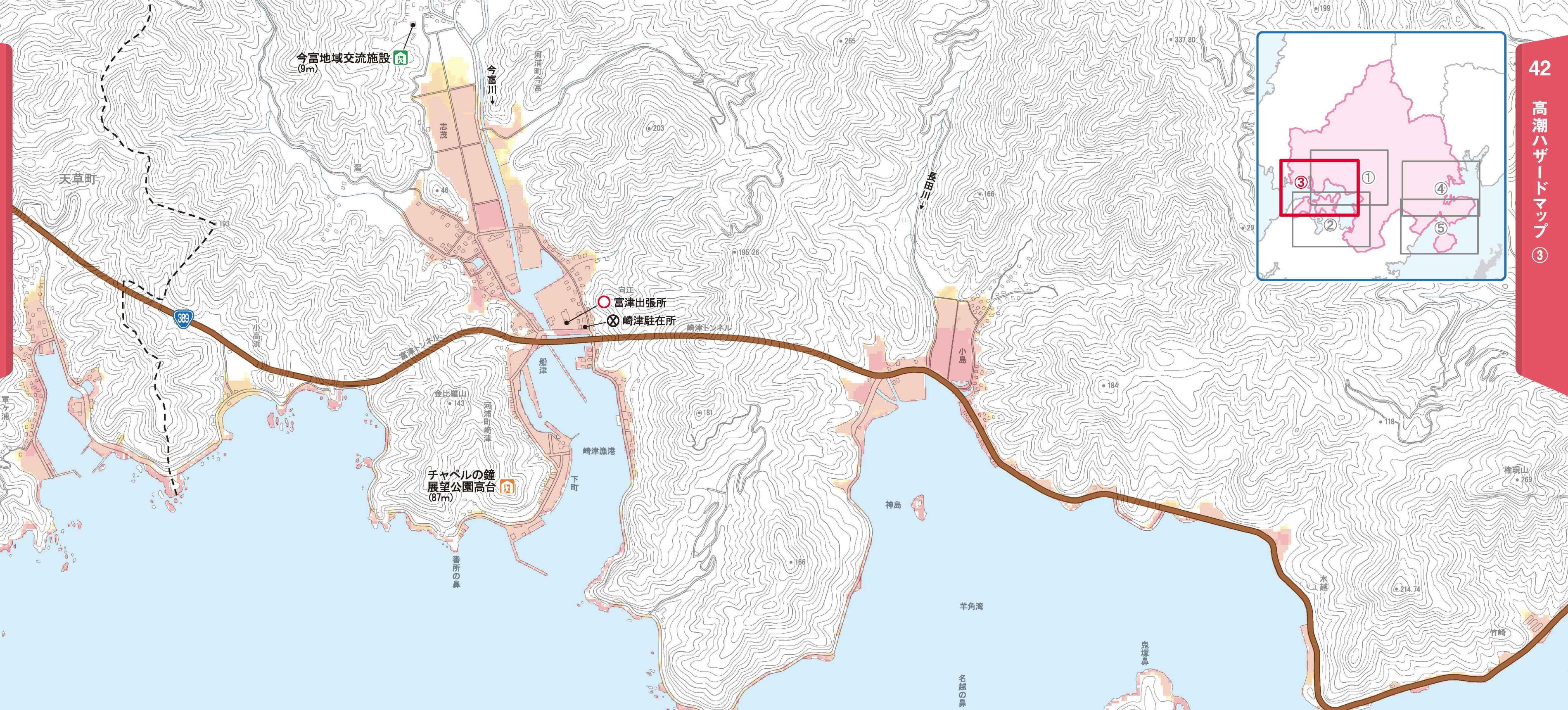
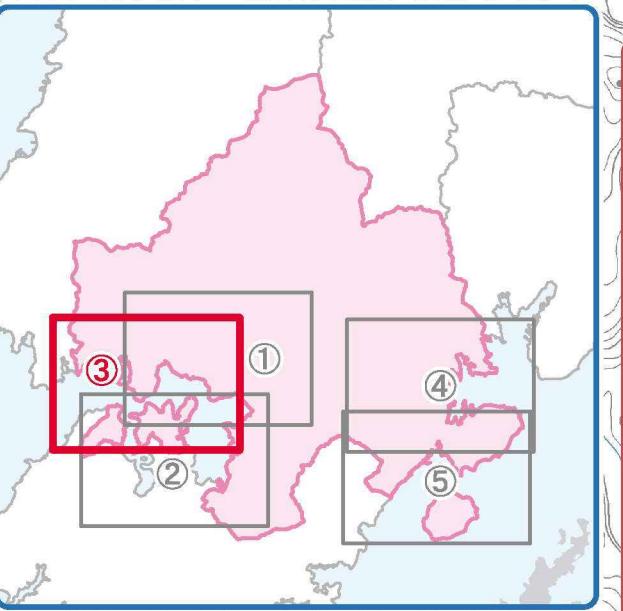






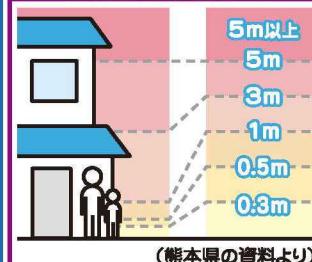
0 1:12,000 300m
測量法に基づく国土地理院長承認(使用)
R 50Rs 455





凡 例

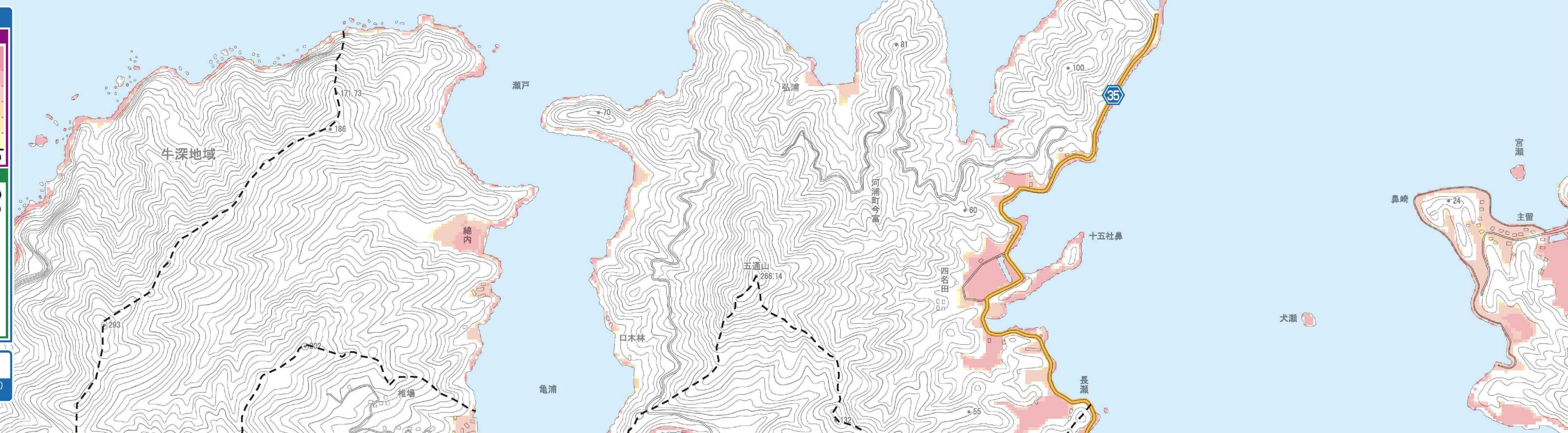
高潮浸水想定区域

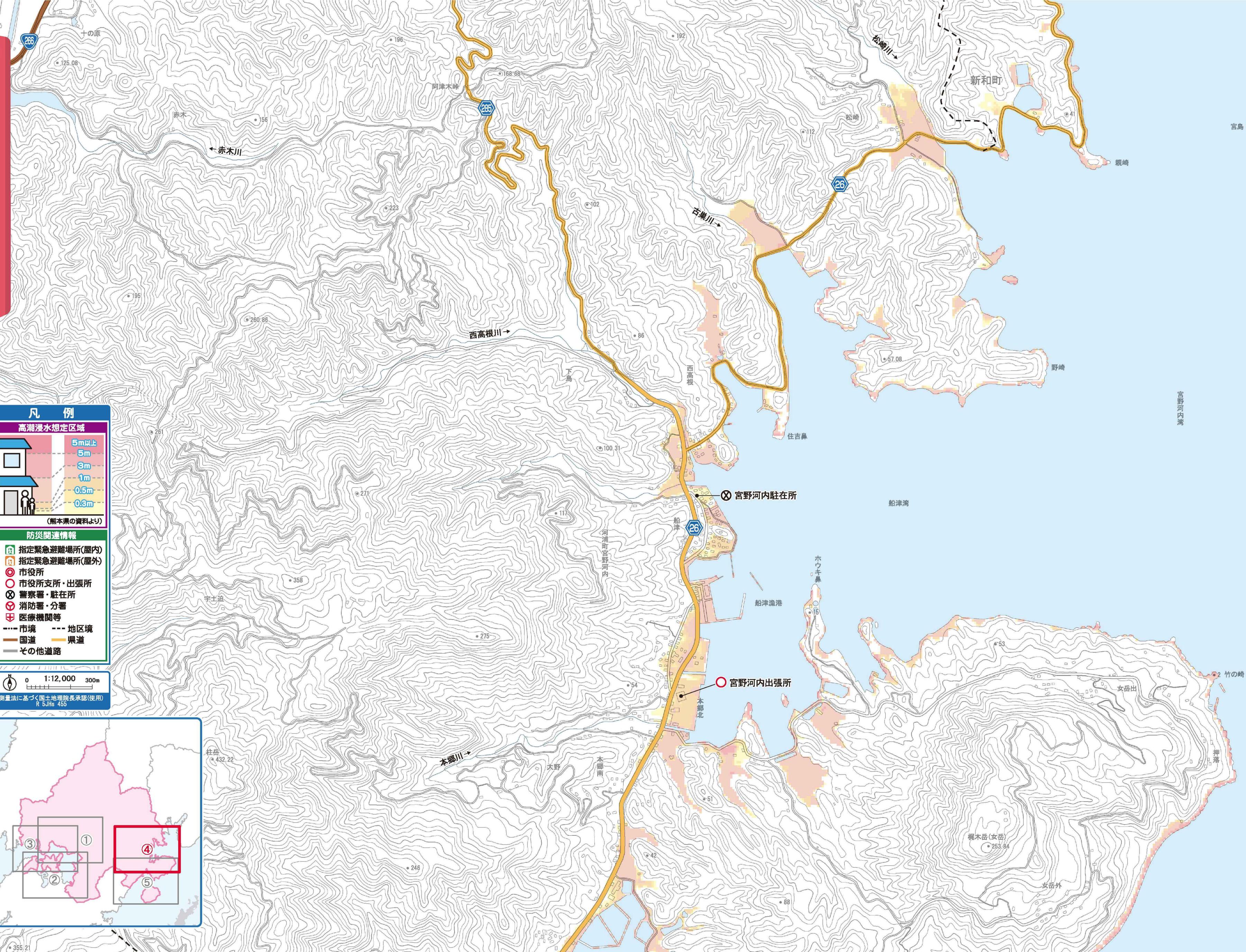
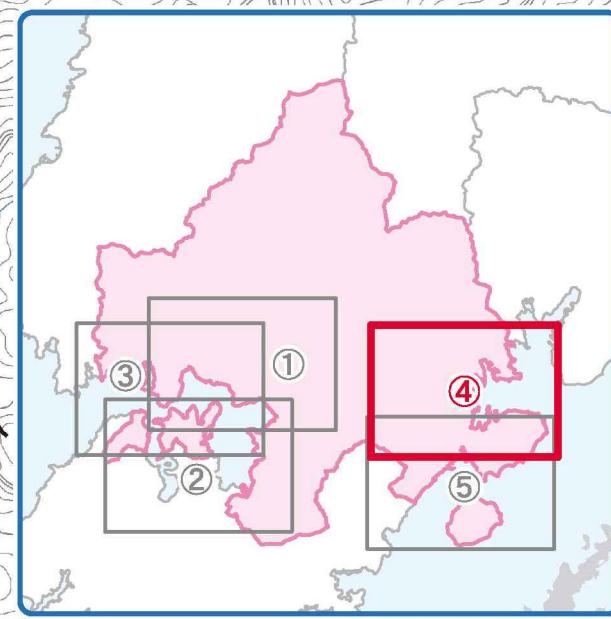


防災関連情報

- 内 指定緊急避難場所(屋内)
- 外 指定緊急避難場所(屋外)
- 市役所
- 市役所支所・出張所
- × 警察署・駐在所
- △ 消防署・分署
- ⊕ 医療機関等
- 市境
- 地区境
- 国道
- 県道
- その他道路

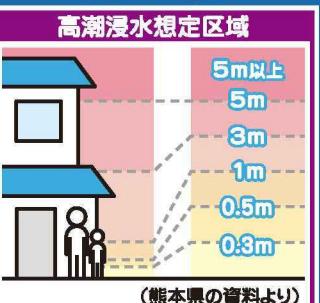
測量法に基づく国土地理院長承認(使用)
R 50Hs 455







凡例

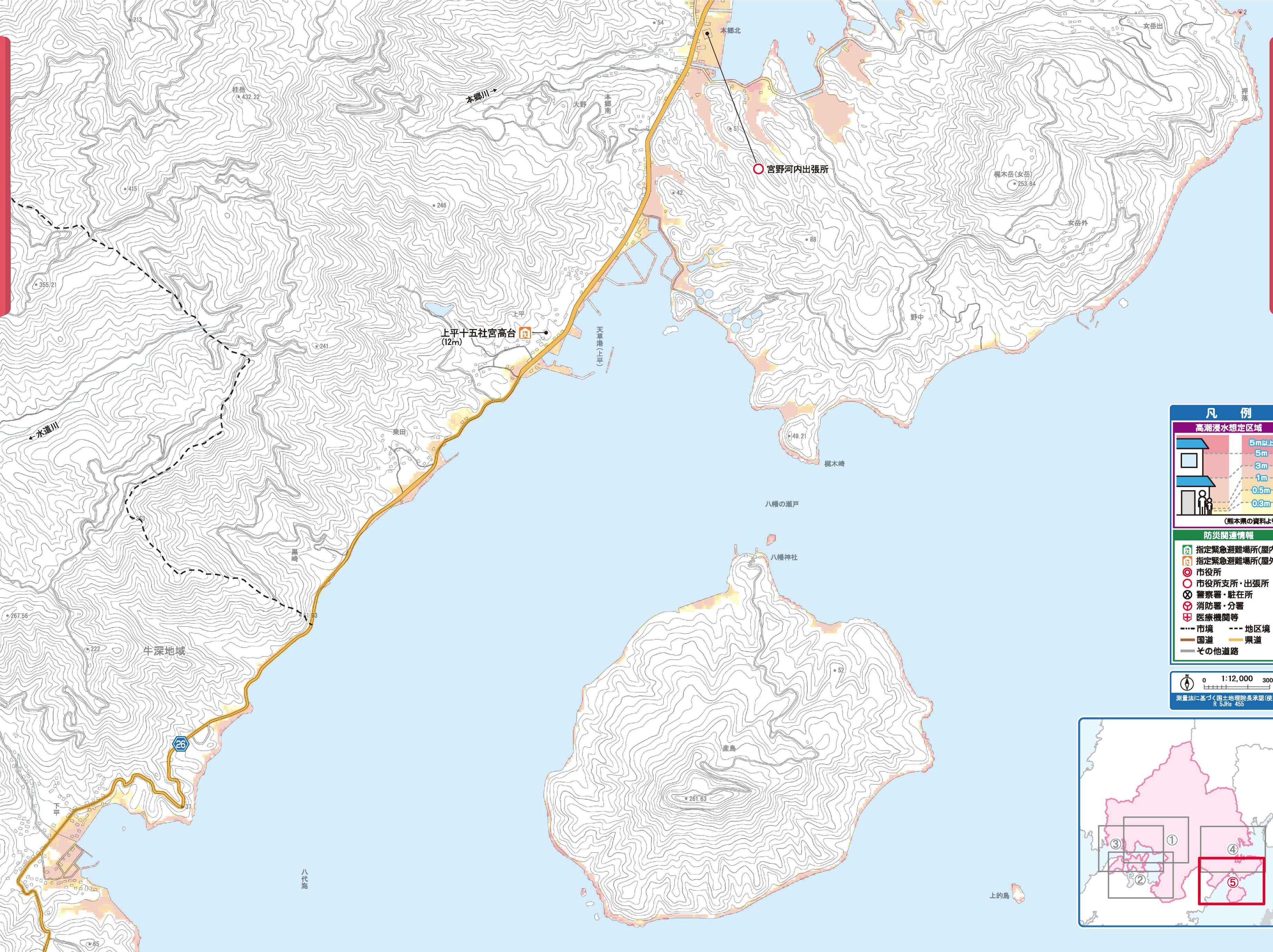


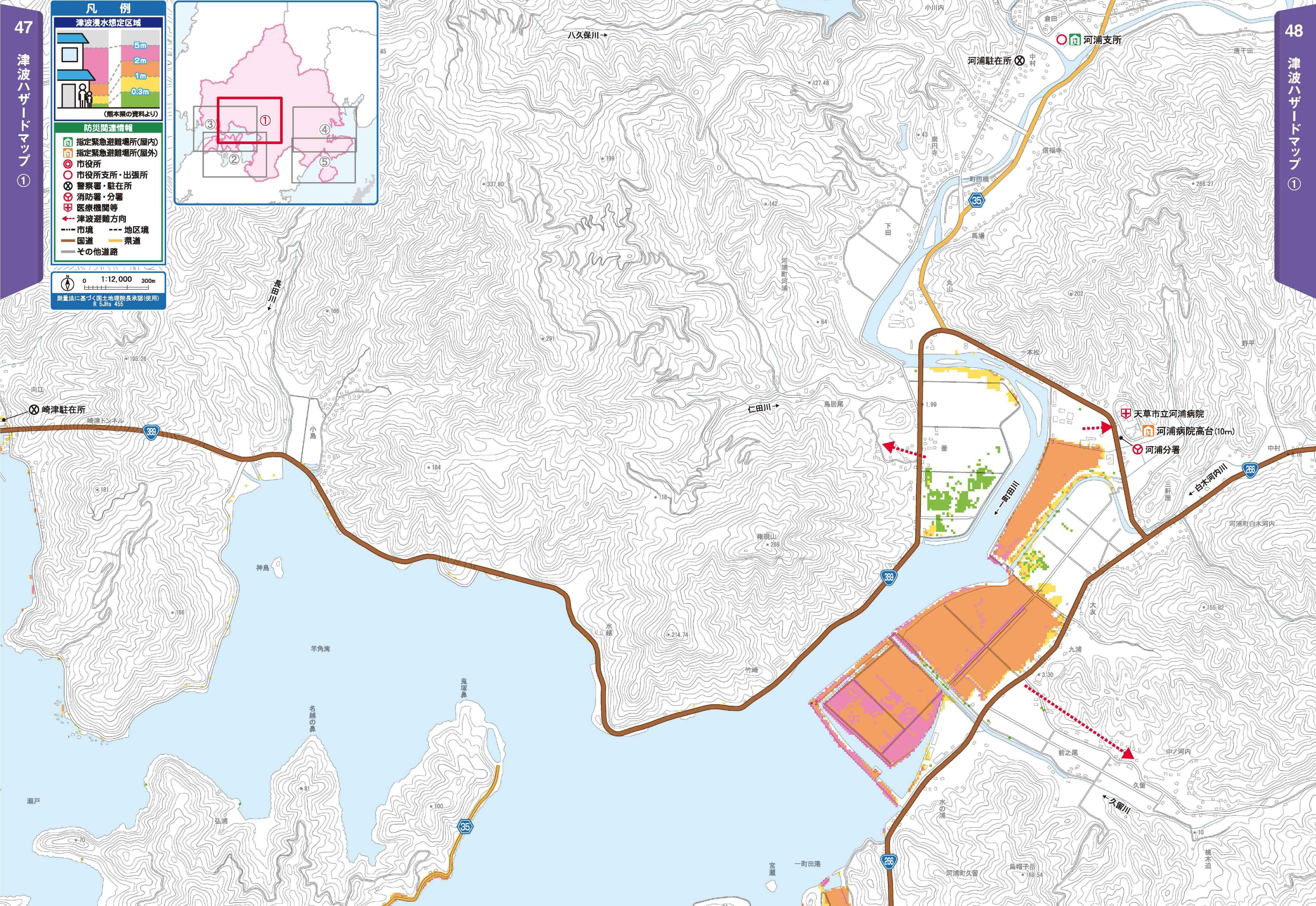
防災関連情報

- 指定緊急避難場所(室内)
- 指定緊急避難場所(室外)
- 市役所
- 市役所支所・出張所
- × 警察署・駐在所
- △ 消防署・分署
- 医療機関等
- 市境 --- 地区境
- 国道 --- 県道
- その他道路

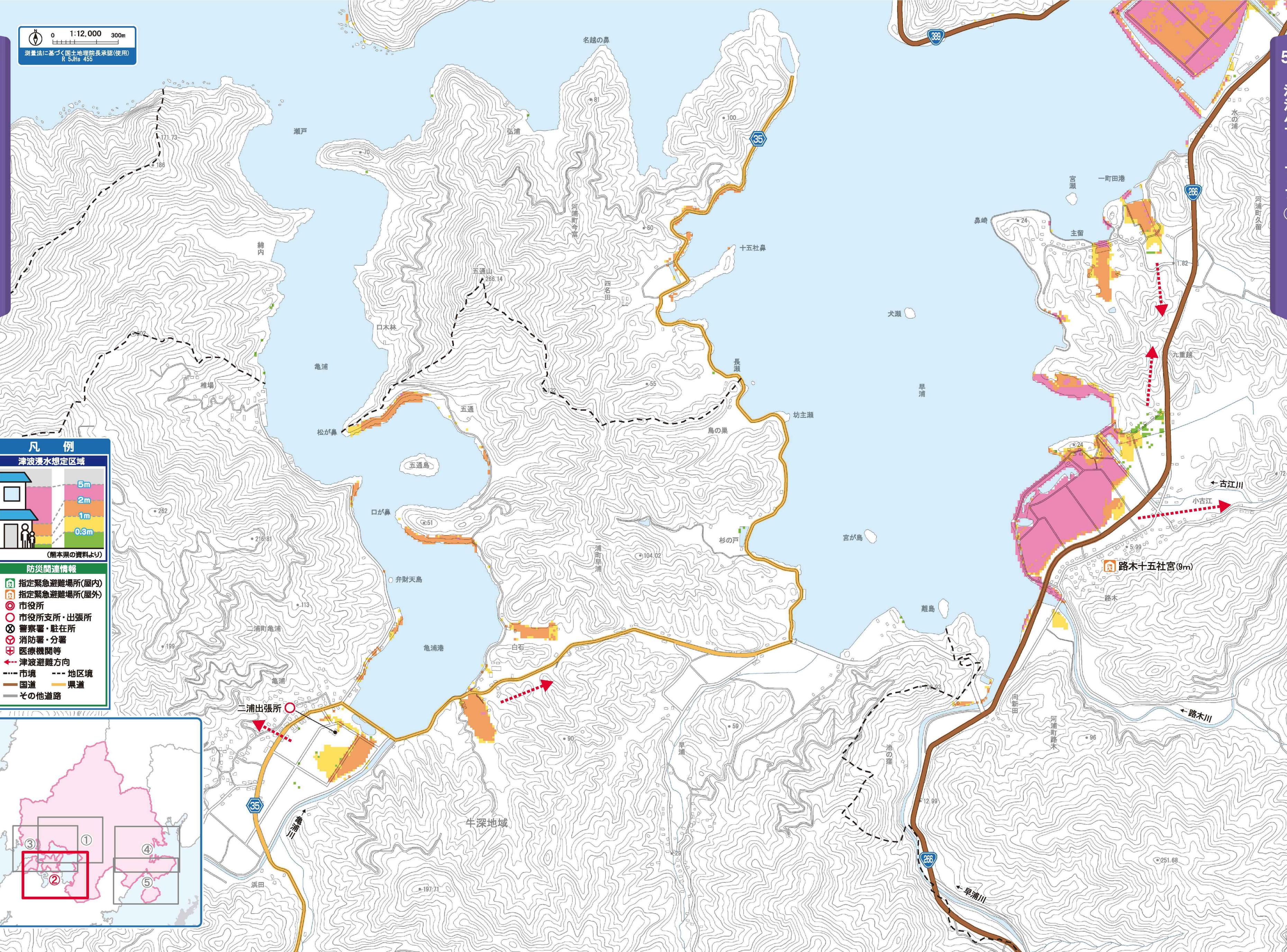
0 1:12,000 300m

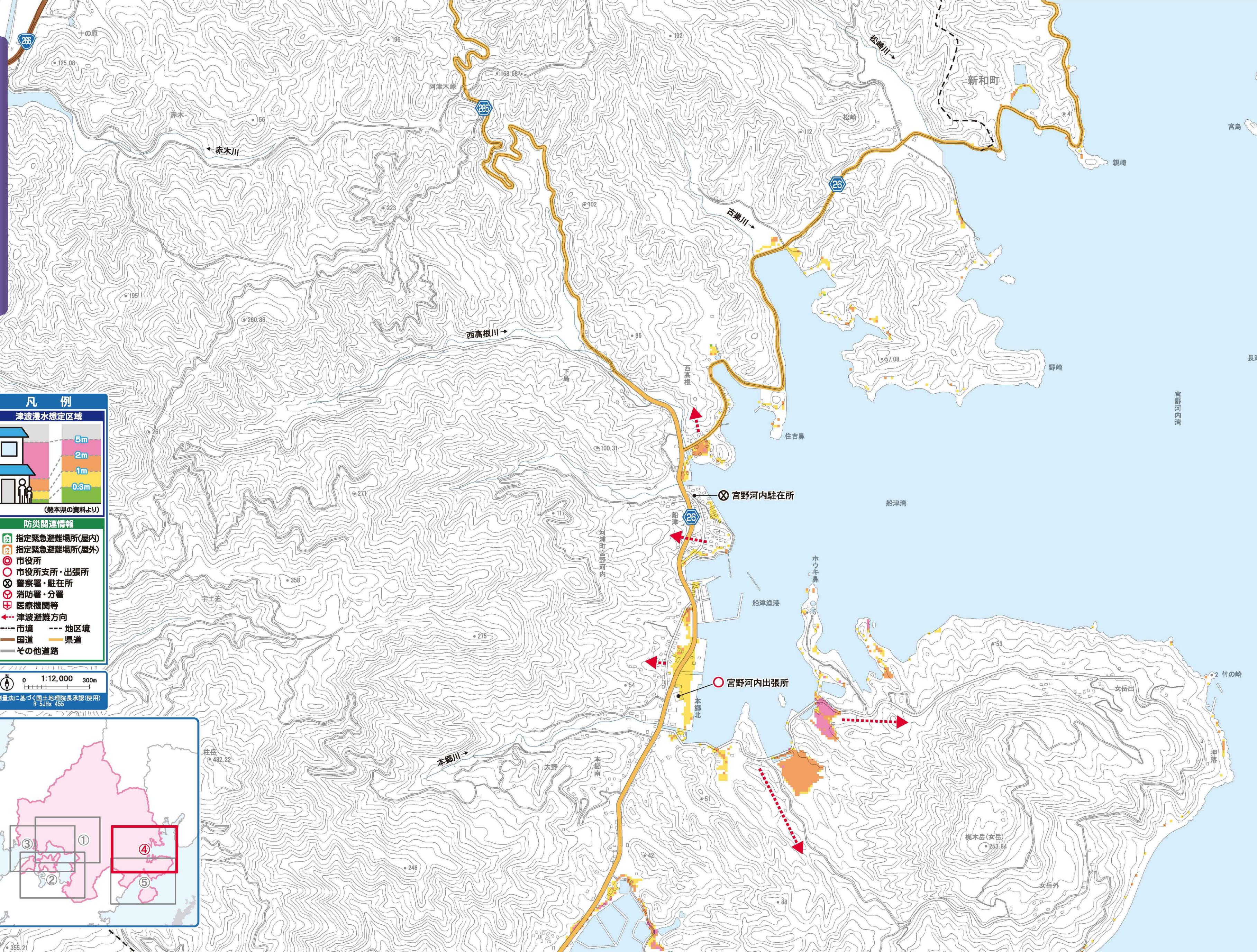
測量法に基づく国土地理院長承認(使用)
R 5JHs 455





0 1:12,000 300m
測量法に基づく国土地理院長認定(使用)
R 50Rs 455







0 1:12,000 300m

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)
R 5JHs 455